

ルモノナシト雖モ佛國ボチエー氏ハ之ニ反對ノ説ヲ述ヘ假令申込ノ取消狀先方へ着セサル前ニテモ既ニ之ヲ郵函ニ投シタル以上ハ取消ノ効ヲ生スヘシト言ヘリ去レトモ氏ハ亦他ノ點ニ於テ莫米法ト實際ト異ナラサル説ヲナセリ即チ假令申込取消狀ハ郵投シタルモ其先方ノ者ニ於テ之ヲ知ラスシテ承諾シタルカ爲メニ生シタル損害ハ之ヲ要求スルコトヲ得ヘシト是其立論ハ同シカラサルモ實際歸スル所ハ一ナルヘシ何トナレハ前ニモ述ヘタルカ如ク契約ノ成立シタル後ニ之ヲ實行セサルヨリ生スル損害モ亦申込ヲ繼續セサルニヨリ生スル損害モ實際均シカルヘケレハナリ

英國ニ於テモ亦右ノ規則ニ違ヘルカ如クニ見ユル判決例アリ敢テ古ルキ判決例ニハアラス今其事實ヲ畧述センニ六月八日附ノ書狀ヲ以テ甲ハ乙ニ左ノ申込狀ヲ送レリ其大意ニ曰ク

(余ハ余ノ所有ニ係ル某所ノ宅地ヲ八百磅ニテ賣渡スヘキ旨ヲ約束  
 ス此申込ハ金曜日即チ十二日ノ午前第九時マテ繼續スヘシト  
 右ノ文面ニアル約束ト言ヘル字ハ法律上申込ノ文意ニ過キス何ト  
 ナレハ約束ノ字ヲ用フルモ之ヲ受ケタル者ノ之ヲ承諾スルニアラ  
 サレハ合意即チ契約ノアルヘキ筈ナケレハナリ)  
 然ルニ甲ハ六月十一日ニ於テ乙ニ通知スルコトナク右ノ宅地ヲ丙ニ  
 賣渡セリ乙ハ其事實ヲ他ヨリ聞知シタルニ付キ六月十二日ノ午前第  
 九時前ニ八日ノ申込承諾ノ旨ヲ返答セシカトモ甲ニ於テハ既ニ之ヲ  
 丙ニ賣渡シタル旨ヲ告ケテ契約ヲ履行セサルニヨリ乙ハ之カ實行ヲ  
 請求シテ衡平裁判所ニ訴ヘリ裁判所ニテハ乙ノ請求相立タスト判決  
 セリ今此判決例ニ因テ之ヲ見レハ甲ハ通知ヲ爲サスシテ申込ヲ取消  
 ストテ得タルカ如クナレモ能ク本訴判決ノ理由ヲ吟味スルトキハ凡

リ取消ニ通知ヲ要スル所以ノモノハ素ト申込ヲ受ケタル者ニ之ヲ取  
消シタル旨ヲ知ラシムルニアレハ本場合ノ如キ申込ヲ受ケタル者ニ  
於テ既ニ取消ノアリタルコトヲ熟知シタル上ハ取消ノ通知ヲ要セス  
トセシナルヘシ  
又他ノ一點ハ確定物賣買ノ申込ヲナスニハ申込者ニ於テ其確定物ノ  
所有主ナルコトヲ要スルモノトセシニアラシカ他言スレハ余カ甲某  
ニ向テ此書物ヲ賣ルヘシト謂フトキハ此書物若シ余ノ所有ニ屬スル  
ニアラサレハ契約ヲ成立セシムルコト能ハザルモノトス譬ヘハ余今  
甲某ニ向テ此書物ヲ賣ルヘシト申込ミ未タ其承諾ヲ得サル前ニ乙ニ  
向テモ亦賣渡ノ申込ヲナシ乙先ツ承諾スルトキハ余ト乙トノ間ニ在  
テハ契約成立シ書物ノ所有權ハ直ニ乙ニ移轉スルカ故ニ其後ニ至リ  
甲ニ於テ買ハント謂フモ余ト甲トノ間ニハ契約ヲ成立セシムルコト

能ハサルナリ  
凡ソ確定物賣買ノ場合ニハ之カ交付ナキモ單ニ約束ノミニテ其所有  
權ヲ移轉セシムルコトハ動産ノ賣買法ニテ知ラルヘシ不動産ノ賣買  
ニハ地券ニ類スル引渡ノ捺印證書ヲ交付スルニアラサレハ其所有權  
ヲ移轉セシムルヲ得サルモ衡平法裁判所ニテハ賣買者雙方ノ間ニ在  
テハ契約ノミニテ所有權ヲ移轉スルモノトセリ  
然レトモ不確定物賣買契約ノ場合ニ於テハ賣主ノ其目的物ニ於ケル  
所有權ヲ有スルヲ必要トセス譬ヘハ甲乙ニ向テポロック氏契約書一冊  
ヲ賣ルヘシト申込ミタル後更ニ又之ヲ丙ニ向テ賣ルヘキ申込ナシ  
乙丙俱ニ承諾スルトキハ甲ニ於テハ唯ポロック氏契約書一冊ノミニテ有  
セルモ亦一冊モ之ヲ有セサルモ尙ホ甲乙並ニ甲丙間ニ二箇格別ノ契  
約ヲ生スヘキナリ

又他ノ一點ハ假令前訴訟事件ニ於ケル甲乙間ニモ契約成立セリトス  
ルモ甲丙間ニ先ツ契約ヲ生シタルカ故ニ丙ニ先取權アリテ乙ハ契約  
實行ノ請求ヲナスコト能ハストナシタルニアランカ何トナレハ一箇  
ノ物ヲ二箇格別ノ人ニ引渡スコトヲ得サレハナリ果シテ然リトセハ  
原告人若シ衡平法裁判所ニ契約實行ノ訴ヲナサスシテ習慣法裁判所  
ニ違約要償ノ訴ヲナシタランニハ必ス勝訴トナリタルヘシト主張ス  
ルモノアリ  
之ヲ要スルニ本件ニ於テ契約實行ノ請求ヲ容レサリシコトヲ以テ申  
込ノ取消ハ通知ヲ要ストノ原則ニ違反スルモノナリトハ謂フヘカラ  
サルカ  
第十四 申込ノ繼續スル間ハ何時ニテモ之ヲ承諾スルコトヲ得ハ

申込ノ繼續スル間ナレハ之ヲ承諾スルヲ得ヘキコト理ノ當然ニシテ  
 説明ヲ要セサルヘシ而シテ一度承諾アルトキハ申込承諾俱ニ各其性  
 質ヲ變シ新ナル契約ヲ生スルコト猶ホ水素ト酸素ト合シテ新ナル化  
 成物即チ水ヲ生スルカ如シ  
 第十五 申込ト承諾トハ相互ニ符合スルヲ要ス  
 申込ト承諾トノ符合スルヲ要スルモ亦自ラ明ナル規則ナリ何トナレ  
 ハ申込ト承諾ト符合スルニ非レハ合意ノ生スヘキ理ナケレハナリ去  
 レトモ符合トハ必スシモ言語上一字一句ニテモ符合セサレハ不可ナ  
 リト謂フニアラス假令言語ハ符合セサルコトアルモ其指示セル意義  
 同一ナルトキハ符合セルモノトナサ、ルヘカラス  
 現金賣却ヲ申込ミ承諾者ニ於テ幾日ニ拂フヘシト謂フカ如キハ符合  
 ニアラス又中等白米ヲ賣却スヘシトノ申込ニ對シ上等白米ヲ買ハン

ト謂フカ如キハ符合ニアラス又或ル訴訟事件ニ於テハ甲ヨリ乙ニ對シ某財産ノ賣却ヲ申込ミ乙ハ之ヲ承諾セシモ其條約書ハ汝ノ代言人ト予ノ代言人ト協議ノ上定ムヘシト申遣ハセシカ右ハ申込ノ儘ヲ承諾シタルモノニアラス申込ト承諾ト符合シタルモノニアラストセリ第十六ニ申込ヲ知ラスシテ承諾スルコトヲ得スト雖モ承諾ノ趣旨ハ法律ノ問フ所ニアラス申込ノアリタルコトヲ知ラサレハ承諾スルヲ得サルハ固ヨリノ事ナレトモ申込ヲ知リテ承諾チナシタル以上ハ如何ナル趣旨ニテ承諾スルモ可ナリ蓋シ結約者ノ目的ハ法律ノ問フ所ニアラサレハナリ本則ハ今更言フマテモナキコトナレトモ特ニ之ヲ爰ニ掲ケタルモノハ或ル訴件ニ於テ偶然斯ノ如キ規則アルヲ要スル場合起リタルヲ以テナリ其事件ニ於テハ被告人新聞ニ廣告シテ其親族某ヲ殺シタル犯

罪者ヲ搜索シテ告發シタル人ニハ其者服罪ノ時ニ若干ノ報酬ヲ與フヘシト言ヒタルニ原告人ハ此事ヲ知ラスシテ犯罪人ヲ搜索シ裁判所ニ訴ヘタル後始メテ廣告ヲ見其後犯罪者ノ服罪スルマテノ間始終證據ヲ呈出セリ此場合ニ於テ犯罪者服罪シタルヲ以テ原告ヨリ廣告通リノ報酬ヲ請求シテ出訴セシカ被告ハ之ニ答辯シテ原告ハ報酬ヲ得ルノ目的ハナカリシナリ故ニ原告ノ請求ニ應シ難シト而シテ裁判所ハ如何ナル趣旨ニテ承諾シタルニモセヨ法律ハ結約者ノ内心ヲ問ハサルカ故ニ被告ハ原告ノ請求ニ應セサルヘカラスト判決セリ此場合ニ於テ被告若シ原告ハ申込ヲ知ラサリシニ就キ承諾スル能ハストノ點ヲ以テ答辯シタランニハ或ハ勝訴トナリタルナラント雖モ被告ハ之ヲ言ハス枝葉ノ點ヲ以テ答辯トシタルカ故ニ敗訴シタルナラン蓋シ英國裁判所ハ單ニ原被雙方ノ呈出シタル論點ノミヲ判決シ其論點



外ノ事ニ關シテハ判決ヲ下サ、ルナリ

第十七 不完全ノ承諾又ハ申込消滅後ノ承諾ハ受申込者ヨリノ新ナル申込ノ効ヲ生スヘシ

前ニモ述ヘタルカ如ク申込ト承諾ト符合セサレハ合意ナク契約ヲ成立セシムルコトナシ不完全ノ承諾ハ申込ヲ拒絕シタルモノナリ又申込消滅後ニナシタル承諾ハ承諾ノ効ナキモノナリ去レトモ此二様ノ承諾ハ俱ニ受申込者ヨリ更ニナシタル新シキ申込ト同一ノ効アリ譬ヘハ甲乙ニ向テ百圓ニテ其或ル物品ヲ賣ランコトヲ申込ミタルニ乙ハ九十圓ニテ買ハント言ハ、雙方ノ間ニ契約成立スルコトナシ去レト甲若シ九十圓ニテ賣ラント言ハ、其時ニ九十圓ニテノ賣買契約成立シタルモノナリ又或ル物品ノ賣却ヲ申込ミ諾否ハ三日内ニ通知スヘシト申送りタルニ四五日ヲ經テ買ハントトヲ通知セリトセンニ此

場合ニハ契約成立スルコトナシ然リト雖モ申込者若シ其通知ニヨリ  
 之ヲ賣ルコトヲ諾スルトキハ契約ヲ生スヘキナリ  
 或ル實例ニ於テ甲ハ乙ニ或ル田地ヲ千圓ニテ賣ルヘシト申込ミタル  
 ニ乙ハ九百五十圓ニテ買フヘシト返答セリ然ルニ甲ハ之ヲ賣ラサル  
 ニヨリ然ラハ千圓ニテ買フヘシト謂ヒシカ甲ハ尙ホ其田地ヲ引渡サ  
 ヲルヨリ乙ヨリ裁判所ヘ違約ノ訴ヲ起セリ裁判所ハ曰ク始メ乙カ九  
 百五十圓ニテ買フヘシト返答シタルハ即チ甲ノ申込ヲ拒絕シタルモ  
 ノニシテ之ト同時ニ甲ノ申込ハ既ニ消滅シタルモノナリ故ニ其後ニ  
 至リ千圓ニテ買フヘシト謂フモ最早申込消滅後ニシテ契約成立スルコ  
 トナシ此場合ニ於テ甲若シ九百五十圓ニテ賣ラント言ハ、其時新ナ  
 ル契約ヲ生スヘシト雖モ甲ハ之ヲ言ハス去レハ乙ノ後ニナシタル千  
 圓ニテ買フヘシトノ言ハ承諾ニアラスシテ新ナル申込ナリ故ニ之ヲ承

諾スルト否トハ甲ノ隨意ニシテ之ヲ承諾セサルモ強テ承諾セシムル  
 ノ理ナシト  
 第十八 受申込者カ申込者ニ對シ申込ニ就キ問合ヲナスハ申込ヲ  
 承諾シタルニアラス又承諾ヲ拒ミタルニモアラス  
 譬ヘハ甲乙ニ向テ手紙ニテ家屋ヲ千圓ニテ賣ランコトヲ申込ミタリ  
 トセンニ乙若シ更ニ手紙ヲ以テ右ノ賣買ハ現金賣ナルヤ將タ掛賣ナ  
 ルヤヲ問合ハストキハ之ヲ申込ヲ承諾シタルモノトハ言フヘカラス  
 又申込ヲ拒絕シタルモノトモ言フヲ得サルナリ斯ノ如キ場合ニ於テ  
 申込人若シ現金賣ナルトカ或ハ掛賣ナルトカ返答スルトキハ前ニナ  
 シタル申込ヲ新ニスルモノニシテ其時ヨリ相當時間内ニ承諾スレハ  
 契約成立スルモノトス  
 第十九 承諾ハ通知ヲ待テ其効ヲ生スルモノトス

申込ヲ承諾スルモ其果シテ承諾セシヤ否ヤヲ對手ニ於テ知ラサレハ合意存スルコトナシ故ニ承諾ニハ必ス通知アルヲ要ス去レト實際ニ於テハ此原則ヲ適用スルコト能ハサル場合却テ多シソハ遠地ニアル兩人ノ間ニ通信ヲ以テ結約スル場合尤モ重ナルモノナリ此場合ニハ申込者ト受申込者ト同時ニ契約ノ成立ヲ知ルコトハ到底出來難キコトナリ若シ承諾スルモ其承諾狀ノ達スルマテハ申込者ニ於テ之ヲ知ラサルヲ以テ契約成立スルコトナシト言ハハ承諾者ニ於テモ亦其承諾狀ノ果シテ申込者ニ達セシヤ否ヤヲ知ルヲ必要トセサルヘカラス又更ニ申込者ニ於テハ承諾狀ノ達シタル旨ノ通知書カ果シテ承諾者ニ達セシヤ否ヤヲ知ルヲ必要トセサルヘカラス斯ク始終相輪轉シテ到底際限ナカルヘシ故ニ英國法ニテハ契約ノ成立ヲ對手雙方共ニ同時ニ知ルコトハ必要ニアラスト定メタリ蓋シ實際止ムヲ得サルニ出

テタルモノニシテ若シ強テ普通ノ規則ニ從ハントセハ到底通信ヲ以テ契約スルコト能ハサルニ至ルヘケレハナリ是ヲ以テ法律上推測シテ申込ヲ受ケタル人カ承諾狀ヲ郵便函ニ入レタルトキハ申込者ニ通知アリタルモノトシ契約成立スルモノトナスナリ去レトモ今日コソ斯ク確定シタルカ如クナレトモ容易ニ斯ク定マリタルモノニアラス殊ニ後ニ至テ解明スルカ如ク或ル點ニ就テハ此規則モ未ダ全ク定マリタルモノト謂フコト得サルカ如シ左ニ之ヲ詳説スヘシ

郵便ニテ契約ヲナシタル尤モ古キ先例ハアダムス對リンドセルノ訴件ナリ被告ハ原告ニ九月二日附ノ手紙ヲ以テ羊毛賣込ノ申込ヲナシタリシカ原告人ノ宿所ヲ間違ヘタルニヨリ其書狀少シク遅レテ九月五日ニ原告ニ達セリ原告ハ之ヲ受取ルヤ否ヤ同日ノ夕刻ニ承諾狀ヲ郵便函ニ投セリ然ルニ被告ハ承諾狀ヲ受取ラサル前既ニ承諾ナキモ

ノト思考シテ其羊毛ヲ他人ニ賣リタルヲ以テ原告ヨリ違約ノ訴ヲナ  
セリ被告之ニ答ヘテ曰ク原告ノ手紙來ラサル前即チ契約成立前ニ他  
人ニ賣リタルコトナレハ違約ノ責ナシト言ヒタレトモ裁判所ハ判決  
シテ凡ソ申込ハ相當ノ時日内ハ繼續スルモノニシテ原告カ其申込繼  
續中ニ承諾狀ヲ郵便函ニ入ル、トキハ爰ニ雙方意思ノ投合アルモノ  
ニシテ契約成立スルモノナリ若シ然セサルトキハ郵便ニテ契約スル  
コトハ到底ナシ能ハサルニ至ラント謂ヘリ

其後ポッター對サンダーノ訴件ニ於テハ同一ノ判決ヲナシタレトモ  
其時ノ或ル判事ノ言ニハ承諾狀ヲ郵便函ニ入レ其承諾狀若シ郵便ノ  
順ニ達セシナラハ投函ノ時ヨリ契約ヲ生スヘシト謂ヘリ

又ダンロップ對ヒツギンスノ訴件ニテハ手紙ニテ申込ミ受申込者ハ其  
日ノ執務時間内ニ承諾狀ヲ投函セリ而シテ此承諾狀若シ順ニ着セシ

~Cottenham.

British of American Dictum.

Telegraph Co. v. Colson. Ratis decidendi.

ナラハ某日午前八時マテニ着スヘカリシニ道路ノ惡シカリシ爲メ後  
 レテ午後二時ニ着ケリ然ルニ申込人ハ午前八時ニ着セサリシヲ以テ  
 承諾ナキモノトシテ物品ヲ他人ニ賣拂ヒタルヲ以テ承諾者ヨリ違約  
 ノ訴ヲナセリ裁判所ハアダムス對リンドセルノ訴件ト同一ノ判決ヲ  
 下シ道路ノ惡シカリシハ承諾者ノ過失ニアラス投函シタル時ヨリ契  
 約成立スルモノナリト謂ヘリ其時判事コツデンハム侯曰ク郵便函ニ  
 承諾狀ヲ入ル、トキハ其後ハ如何ニ成行クモ夫レカ爲メ毫モ影響ヲ  
 蒙ルコトナシ契約ハ投函ノ時ヨリ成立スト此侯ノ言ハ一己ノ説ニシ  
 テ裁判官カ裁判スルニ必要ナル理由ヲ述ヘタルニハアラス之ヲ以テ  
 英米電信會社對<sup>コルソン</sup>ノ訴件ニテハダンロップ對ヒツギンス訴件ノ  
 結果ヲ制限セントシテ裁判シタルコトアリ

此訴件ハ被告ヨリ原告會社ノ株主タランコトヲ申込ミ會社ハ其申込

契約法

百五十一

七三

七二

ニ對シ承諾ノ上帳簿ニ記名セシ旨ヲ申送リタルニ其承諾狀被告ニ着セサリシナリ其後被告ハ株金ヲ拂フコトヲ拒ミシニ就キ原告會社ヨリ出訴セリ裁判所ハ申込者ニ承諾狀カ達スルマテハ契約成立セス若シ着スルトキハ投函ノ時ニ溯リテ其効ヲ生シ其時ヨリ契約成立スルモノナリト謂ヘリ此訴件ニヨレハ手紙ノ着スルコトヲ必要トセシナリ

又ハリス訴件ニ於テハ或ル會社ノ株主タランコトヲ申込ミ會社ニテハ承諾狀ヲ發セシモ申込人ニハ久シキ間着セサリシヲ以テ申込ノ取消狀ヲ發シタリシカ是ト前ノ承諾狀トハ途ニ行違ヘリ此場合ニ於テ裁判所ハダンロツプ對ヒツギンス訴件ニヨリ被告ニ違約ノ責アリト判決セリ即チ此訴件ハ英米電信會社對コルソンノ訴件ヲ破棄シタルモノナリ去レトモ此訴件ニテモ判事<sup>ル</sup>メリシ氏ハ異說ヲ唱ヘテ曰ク承



諾狀ヲ投函シタルトキヨリ契約ハ成立スヘシト雖モ若シ其承諾狀ノ  
 着セサルトキハ申込人ニ於テ契約成立セサリシモノト看做スコトヲ  
 得ヘキ解除條件付ノモノナリト  
 右ノ二訴件ハ承諾狀若シ途中ニ紛失シテ着セサルトキハ契約成立ス  
 ルコトナシトノ制限ヲ加ヘントセルモノニシテ英國ニテハ此點未タ  
 一定セサリシカ米國ニテハ一千八百五十年ヨリ承諾狀ノ着否ニ關セ  
 ス投函ノ時ヨリ成立スルモノトナセル先例アリテ<sup>を</sup>ロル對火災保險  
 會社訴件即チ是レナリ  
 此訴件ハ被告人ノ問合ニ答ヘテ會社ヨリ原告人ニ其家屋ヲ保險セン  
 コトヲ申込ミ原告人ハ承諾ノ手紙ヲ郵便函ニ投セシカ未タ會社ニ着  
 セサル前原告ノ家屋燒失セリ此場合ニ於テ會社ハ保險金ヲ拂ハサル  
 ヘカラスト判決セラレタリ其理由ハ契約ハ投函ノ時ヨリ成立スルモ

ノトスレハナリ去レトモ此訴件ニ於テハ承諾狀ハ實際着シタルニテ未タ全ク着セサリシ先例トテハナカリシカ一千八百七十九年ニ至リテ初メテ英國ニ一訴件起リ其訴件ニテ承諾狀若シ紛失スルモ尙ホ契約ハ成立スルコト、一定セリ其事實ハ原告會社ノ支店田舎ニアリテ是レニ被告ヨリ株買入ノ申込ヲナシタリ依テ右ノ支店ハ倫敦ナル本店ニ其旨ヲ通知シ本店ヨリ承諾ノ旨ヲ認タメタル承諾狀ヲ郵便ニ投セリ其後間モナク會社ハ解散シタルヲ以テ其跡引受人ヨリ被告ヲ相手取リテ株金拂込ミノ訴ヲ起セリ而シテ此場合ニ於テ右ノ手紙ハ實際被告ニ着セサリシカ尙ホ契約ハ成立セサルモノナリト判決セリ右ノ訴件以來英米共ニ承諾狀ヲ郵便函ニ入ル、トキハ其着否ニ拘ラス契約成立スルモノニシテ亦動カスヘカラサルモノトナレリ蓋シ止ムヲ得サルニ出テタル例外ノ規則ト謂フヘシ

去レトモ米國わラングテル氏ハ尙ホ反對ノ説ヲナセリ今其説ヲ畧述スレハ承諾ハ通知ヲ必要トスルヤ否ヤハ之ヲ一概ニ論スヘカラス偏務契約ナルト雙務契約ナルトヲ區別スルヲ要ス元來承諾ハ其性質ニ於テハ通知ヲ要スルコトナシト雖モ雙務契約ノ場合ニハ承諾ノ中ニ反對ノ申込ヲ含蓄スルカ故ニ申込ノ性質上通知アルヲ必要トス偏務契約ノ場合ニハ受申込者カ承諾スルト同時ニ或ル事ヲ爲シ終ルモノニテ然ルトキハ承諾ノ當時ヨリ受申込人ニ對シテ契約成立セルモノトナサルヘカラス若シ然セサルトキハ受申込人ヲ保護スルヲ能ハサルニ至ラン譬ヘハ甲カ乙ニ對シテ乙若シ丙ニ金ヲ貸サハ丙ノ之ヲ辦償セサル時ニ當リ代ツテ辦償スヘシト申込ミ乙其申込ニ應シテ丙ニ金ヲ貸ストキハ其時ヨリ乙カ甲ノ申込ヲ承諾スルコトノ通知ヲ俟タスシテ契約成立スヘシ何トナレハ若シ然ラサルニ於テハ乙カ丙ニ金ヲ貸

シ甲ニ通知セサル前ニ甲ニ於テ保證スヘキ申込ヲ取消シタランニハ  
乙ハ甲ニ欺カレタルニ均シキ不慮ノ損失ヲ蒙フルヘケレハナリ又一  
例ヲ舉クレハ東京ノ甲某ヨリ大阪ノ乙某ニ酒幾樽ヲ送ルヘシト注文  
シ乙其注文ニ應シテ酒樽ヲ船ニ積ミ既ニ出帆シタル後ニ甲其申込ヲ  
取消シタリトセンニ若シ其船破レテ酒樽既ニ存在セサルトキハ如何  
斯ル場合ニ於テハ受申込者ニ於テ承諾ニ該當スル事ヲナシタル時  
ヨリ契約成立スヘシト右考ハ英米國外ノ法學者ノ言ハサル所ナレト  
モ甚タ妙説ト謂フヘシ併シ伊太利國一千八百八十三年制定ノ商法第  
三十六條ニハ同様ノ規則ヲ設ケリ其條ニ曰ク申込ノ性質若シ之ヲ承  
諾スル者ニ於テ直ニ事ヲサントスルモノニシテ受申込者カ先ツ口  
頭ニテ承諾ヲナシ其後約束ノ事ヲ履行スルカ如キ場合ニアラサルト  
キハ受申込者カ申込通リノ事ヲナシタルニヨリ承諾アリタルモノト

シ敢テ通知ヲ要セスト去レトモ雙務契約ノ場合ニハ承諾ノ中ニ申込  
ヲ含蓄スルモノナルカ故ニ右ノ論ヲ適用スヘカラス蓋シ申込ニ通知  
ヲ要スルハ一般ノ原則ナレハナリ凡ソ雙務契約ハ約束ト約束トカ互  
ニ約因トナリ居ルモノナリ譬ヘハ甲カ乙ニ或ル物ヲ賣ラント謂ヒ乙  
之ヲ買ハント謂フトキハ賣ルノ約束ト代金ヲ拂フノ約束トカ雙方ノ  
約因トナリ居ルモノニシテ斯ノ如キ場合ニ甲ヨリ賣ラント謂ヒ乙ハ  
買ハント謂フトキ乙ノ買ハント謂フトコトハ甲ノ賣渡ノ申込ヲ承諾シ  
タルト共ニ買入ノ申込ヲナシタルナリ故ニ申込ノ原則ニ從ヒ其通知  
アルヲ必要トス總ヘテ約束ハ承諾ノアルマテハ申込タルニ過キス故  
ニ假令其外形ハ約束ノ如クナルモ尙ホ法律上ニテハ申込タルニ外ナ  
ラサルモノナリ

右ラングテル氏ノ説ハ其當ヲ得タルモノニアラスト思ハル何トナレ

ハ雙務契約ノ場合ニテモ申込ニ對シテ承諾アルトキハ受申込者ニ於テ其承諾スルト共ニナス所ノ申込ハ始メヨリ申込者カ豫期シタル所ノモノナルヘケレハナリ或ル物ヲ賣ラント謂ヒ先方ニテ買ハント謂フトキハ其買ハント謂フ申込ハ之ヲ通知セサルモ申込者カ申込ヲナシタル時ニ於テ豫メ承諾シテ通知シタルモノトセサルヘカラス且ツラングテル氏ノ言ヘル如ク買ハント謂フコトハ申込ナルニ就キ通知ヲ要ストセハ之ヲ受ケタルモノニ於テ其申込ヲ承諾スルト否トハ隨意ナルヘキニ一旦賣ルヘシト謂ヒ買ハント謂フ者アルトキハ確定動カスヘカラスアル契約ヲ生スヘキニアラスヤ畢竟買ハント謂フコトハ通常ノ申込トハ見ルヘカラスナリ

印度契約條例ニテハ承諾狀ヲ郵便函ニ入レタル時ヨリ申込者ニ對シテハ承諾ノ効アレトモ承諾者ニ對シテハ承諾狀ノ先方へ着シタル時

ヨリ承諾ノ効アルモノトセリ即チ他言スレハ受申込者カ承諾狀ヲ投函シタル後ハ申込者ニ於テ之ヲ取消スコトヲ得サレトモ承諾者ハ先方へ着スルマテノ間ナレハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得ヘシ右ノ規則ハ一見スレハ不都合ナルカ如シ何トナレハ一ノ契約ニシテ其成立ノ際申込者ニ對シテ契約ノ効ヲ生スル時ト承諾者ニ對シテ効ヲ生スル時トナ異ニスレハナリ去レト實際甚タ便宜ノ規則ト謂フヘシ其所以ハ承諾者ニ於テハ承諾狀ヲ投函シタル時ヨリ自ラ契約成立シタルモノト看做サ、ルヲ得サルモノニシテ其着否ハ己レノ力ノ及ハサル所ナレハナリ去レトモ申込者ニ於テハ之ヲ承諾スルト否トハ受申込者ノ隨意ナレハ其通知アルマテハ之ヲ知ルニ由シナク之ヲ知ラサレハ通知ノ着スルマテノ間ニ契約ヲ成立セリト思惟シテ用意スル等ノ事モナカルヘシ去レハ其通知ノアル前又ハ之ト同時ニ其取消

狀着スルトキハ申込者ニ不便ナク承諾者ニ便利アリト謂フヘシ  
凡ソ契約ヲ投函シタル時ヨリ契約成立スルモノトナスハ或ハ一方ニ  
ハ便利ナレトモ他ノ一方ニハ不便ニシテ雙方ノ利益相反スルコトア  
リ一方ノ者孰レカ不便ヲ蒙ムルヘキニ於テハ取引ヲ始メタル者ニ於  
テ其不便ヲ負フヘキモノトセサルヘカラス  
佛國法ニテハ承諾ハ何時ヨリ其効アルヤヲ成文法ニテ一定セルコト  
ナク學說モ亦區々ナリトス<sup>い</sup>ボチエー氏ノ如キハ承諾狀ノ達スルマテ  
契約成立スルコトナシト言ヒ<sup>ろ</sup>メルラン氏ノ如キハ投函ノ時ヨリ契約  
成立スヘシト言ヘリ  
獨逸ハ三派ノ學說アリ第一種ノ學者ハ承諾狀ヲ郵函ニ投シタル時ヨ  
リ契約成立スト言ヒ第二種ノ學者ハ承諾狀ノ達スルマテ契約成立セ  
スト言ヒ第三種ノ學者ハ承諾狀カ申込人ニ達シ申込人ノ一覽スルマ



テハ契約成立セスト言ヘリ右ノ第一説ハ英米ト均シク便益ヲ基礎ト  
 シ第三説ハ合意ヲ根據トシ孰レモ一理アレトモ第二説ハ郵函ニ投シ  
 タル時ニアラスシテ着シタル時ニ契約成立スト謂ヘルハ眞ノ合意謂  
 ナ根據トナシタルニモアラス又便宜ニ基キタルニモアラサレハ甚タ  
 レナキノ説ト謂フヘシ單ニ之ヲ受取ルノミニテ未タ一覽セサル以上  
 ハ其書狀或ハ斷リ狀ナルヤモ知レサレハナリ去レトモ獨逸商法ニテ  
 ハ一定ノ規則ヲ設ケリ其箇條ノ意義稍々曖昧ナルカ如シト雖モ今其  
 結果ヲ約言スレハ凡ソ承諾ヲ相當時間内ニ爲シ其承諾狀相當時間内  
 ニ申込者ニ達スレハ始メ投函シタル時ニ溯リテ契約ノ効ヲ生スヘシ  
 ト謂フニアリ這ハ英國ニテモ一時裁判所ニテ行ハレタル説ニシテ伊  
 太利法典モ亦是レト同様ニ記載セリ(獨逸商法第千二百十九條及伊太  
 利法典第三十六條參照)

第二十二 承諾ニシテ捺印證書ヲ以テセルニアラサルモノハ約因ノ  
 之ニ伴フモノナクンハ全ク承諾ノ効ナキモノトス之ヲ單  
 純ナル承諾ト謂フ

單純ナル承諾トハ即チ承諾者ニ於テ約因ヲ供スルコトナキ承諾ニシ  
 テ譬ヘハ物又ハ金ヲ與フヘキ申込ニ對シ之ヲ受クヘキ承諾ヲナシ承  
 諾者ニ於テ之カ報償ヲ與ヘサルモノ、如キ是ナリ而シテ英米法ニテ  
 ハ約束並ニ約因アルヲ要スルモノナレハ單純ノ承諾ヲナシ申込ヲシ  
 テ契約タラシムルコト能サルヤ明ナラン去レトモ捺印證書ヲ以テシ  
 タルトキハ約因ヲ要セサルニヨリ單純ノ承諾ヲ以テ有効ナル恩惠契  
 約ヲ生セシムルコトヲ得ヘシ

第二十一、承諾ハ通知ニヨリ完全ノモノトナル前ナレハ何時ニテ  
 モ之ヲ取消スコトヲ得ヘシ

承諾モ亦申込ニ均シク通知スルヲ要スルヲ以テ原則トスルモノナレハ之カ通知アル前ナレハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得ヘキヤ當然ナリ嚴密ニ言ヘハ通知アル前ノ承諾ハ法律上未タ承諾ノ効ナキモノト謂フヘシ

第二十二、承諾ノ取消モ亦通知アルヲ要ス

承諾ノ通知アル前ナレハ之ヲ取消シ得ヘシトスルモ其取消タル猶ホ申込ノ取消ト同シク通知アルヲ要ス是亦自明ノモノタリ通知ナケレハ取消ノ効ナシ

第二十三、契約ハ承諾ノアリタル時ニ生スルモノニシテ決シテ申

込ナシタル時ニ溯リテ其効ヲ生スルモノニアラス

承諾ノアリタル時始メテ雙方ノ間ニ合意ヲ生スルモノナレハ承諾ノ効力カ申込ヲナシタル時ニ溯ラサルコトハ理ニ於テ然ルヘキモノ也

申込者ヨリ言ヘハ申込ノ時ニ結約ノ意思アリシナラント雖モ承諾者ニ於テハ其當時結約ノ意思アリタルニアラス承諾ノ時ニ始メテ其意思ヲ生シタルモノナリ雙方ノ意思ノ投合ハ全ク承諾ノ時ニアリト謂フヘシ

第二十四、遠地ニ居ル兩人ノ間ニアリテ郵便ヲ以テ結約スル場合ニ於テ承諾狀ヲ投函シルタ後直ニ取消狀ヲ出タシ其取消狀先ツ達シタルカ又ハ承諾狀ト同時ニ達シタル時ハ取消ノ効アリヤ否

右ノ場合ニ於テ取消狀ノ効アリトセハ契約ハ成立スルヲナカルヘク其効ナシトセハ契約ハ成立スヘク孰レカ其一ニ居ラサルヘカラス若シ承諾モ効アリ亦取消モ効アリト言ハ、猶ホ同時ニ暑シ寒シト謂フニ異ナラス英米ノ法律ニテハ承諾狀ヲ投函シタル時ヨリ通知アリタ

ルモノトシ契約成立スルモノナリトスルコトハ第十九ノ場合ニ於テ之ヲ述ヘタリ去レハ承諾狀ヲ投函シタルト同時ニ承諾ハ其性質ヲ變シテ契約トナリ亦取消スコト得ヘキ承諾アルコトナカルヘシ果シテ然ラハ承諾狀投函ト共ニ契約成立スルモノニシテ之テ一方ノ者ノ隨意ニテ取消スコト能ハサルヤ素ヨリ言ヲ待タス若シ之ヲ取消スコト得ルトセハ世ニ違約トテハナキニ至リ契約ハ對手間ニ在リテハ法律ニ均シキ効力アリトスル原則モ皆無ニ歸セントス故ニ承諾ノ取消狀假令先ツ着スルコトアルモ尙ホ契約ハ成立シ毫モ承諾ノ効ヲ害スルコトナカルヘキナリ何トナレハ契約ハ承諾狀ノ達シタル時ニ成立スルニアラスシテ之ヲ投函シタル時ニ既ニ成立シタルモノナレハナリ但シ此議論タル契約ハ投函ノ時ヨリ成立スルモノト假定シタルヨリ生スル自然ノ結果ニシテ第十九ノ場合ニ述ヘタル如ク右ノ規則ハ渾ヘテノ場合

ニ適用シ得ヘキモノニアラストセハ此議論モ強チ正當ノモノト謂フ  
 ヘカラサルカ如シ故ニ取消狀先ツ着シタルカ又ハ承諾狀ト同時ニ着  
 シタル時ハ右ノ規則ヲ適用スヘキモノト確定セルニアラサルコトヲ  
 證明セハ或ハ取消ノ効アリテ契約ハ成立セサルモノトスルヲ得ヘシ  
 今左ニ第十九ノ場合ニ論シタルモノヲ再ヒ畧述スヘシ  
 第十九ノ規則ハ便宜ヲ謀リテ設ケタルモノナリ申込者ハ豫メ其申込  
 ニ對スル承諾アラノコトヲ期シタルモノナレハ申込者ニ對シテハ承諾  
 者ニ於テ承諾狀ヲ郵便函ニ投スルヤ否契約成立セルモノトスヘキナ  
 リ若シ斯クセサレハ承諾者ハ申込ヲ受ケテ之ヲ承諾シタルモ申込者  
 カ承諾狀ノ未ダ着セサル前ニ申込ヲ取消ス如キコトヲ得ヘク然ルキハ  
 受申込者ニ於テ損失ヲ蒙フリ失望ヲ來スコトアルヘキナリ故ニ一旦承  
 諾狀ヲ投函シタル後ハ假令未ダ申込者ニ達セサルモ之ヲ取消スコト能

ハスト定メタルナリ、又一旦承諾狀ヲ投函シタル後ハ其着否ハ承諾者  
ノ力ノ外ニシテ之ヲ左右スルコト能ハサルモノナレハ假令其書狀ノ紛  
失シテ申込者ニ達セサルコトアルモ之ヲ以テ契約成立セリト便宜上定  
メタルナリ第十九ノ場合ハ承諾狀ヲ投函シテ其未ダ達セサル前ニ申  
込者カ取消シタル場合ト承諾狀ノ紛失シタル場合ニ限りテ之ニ適用  
センカ爲メニ設ケタル規則ニシテ第二十四ノ如キ場合ハ英米國ニ適  
切ノ先例一モアルコトナシ英米ニテハ未ダ第二十四ノ場合ヲ決スヘキ  
一定ノ規則トテハ之レナキナリ若シ之ナシトセハ余ハ寧ろ取消ノ方  
ニ効アリトスルヲ至當ナリト信ス何トナレハ此場合ニ於テハ第十九  
ノ規則ノ如キ例外ヲ設クルノ必要ナケレハナリ既ニ例外ヲ設クルノ  
必要便宜ナシトセハ受申込者ニ於テ申込ヲ承諾スルト否トハ全ク其  
隨意ニシテ決シテ承諾セサルヘカラサル義務アルニアラサルモノナ

レハ假令一旦承諾シタルニモセヨ之カ通知ノ申込者ニ達スルマテハ  
 申込者ニ於テ契約ノ成立セシヤ否ヤヲ知ルニ由シナカルヘク之ヲ知  
 ラサレハ契約成立セリト思惟シテ之カ履行ノ準備ヲナスヲナカルヘ  
 ク又其利益ヲ得ント希望スルヲモナカルヘケレハ假令承諾シタル後  
 ニ之ヲ取消サル、モ取消狀先ツ着スルカ又ハ同時ニ着スル時ハ申込  
 者ニ於テ毫モ損失ヲ蒙フルヲナカルヘク又失望スルヲモナカルヘキ  
 ナリ然ルニ若シ承諾者カ之ヲ取消サントスルニ取消ノ効ナシトセハ  
 承諾者ノ眞ノ意思ニアラサルヲ強テサシムルニ至ラン夫レモ申  
 込者ニ便宜アリト謂ハ、或ハ之カ爲メニ一步ヲ讓ルヘキモ申込者ニ  
 一ノ便宜ナク而シテ承諾者ニ迷惑ヲ蒙ラシムルハ實ニ謂レナキト  
 謂フヘシ故ニ余ノ管見ニヨレハ便宜ヲ謀リテ第十九ノ規則ヲ設ケタ  
 ルハ不得止設ケタル例外ナレハ其便宜ナキニ於テハ第二十四ノ場合



ニ此規則ヲ適用スルコト能ハサルヘシ若シ強テ之ヲ適用セントセハ便  
宜ヲ謀リタル規則ニシテ却テ不便ヲ生シ二者ノ間相矛盾スルニ至ル  
ヘシト思フナリ去レトモ言語上ニ就キ一見スレハ第十九ノ場合ニハ  
承諾狀ヲ投函シタル時ヨリ契約成立スト謂ヒ第二十四ノ場合ニハ一  
旦承諾狀ヲ發シタルモ其後ノ取消狀ノ方却テ効アリト謂ハ、二者相  
矛盾スルカ如ク思ハルレトモ是只言語上ノ事ニシテ右承諾狀ヲ投函  
シタル時ヨリ契約成立ストノ規則ハ前ニ述ヘタル二場合ニ限ルヘキ  
モノニシテ一般ニ適用スヘキ原則ニハアラサルコトヲ知ラハ決シテ  
矛盾ニアラサルコトヲ了解セラルヘシ

本論ニハ少シク關係薄キコトナレド序ニ先例ノ事ヲ一言スヘシ凡ソ判  
決ノ先例ト稱スヘキモノハ裁判官ノ職權ヲ以テ法律ヲ適用スルニ當  
リ判決ノ基礎トナルヘキ理由ヲ稱スルモノニシテ此理由ノミチ先例

ト謂フヘキモノナリ故ニ如何ニ明論ナリト雖モ判決ニ必要ナラサル  
 事ヲ論シタルモノハ裁判官一己ノ私見ニシテ判決ノ理由ト謂フヲ得  
 ス隨テ先例トナルヘキ効力ナキモノナリ譬ハ承諾狀ヲ一旦郵便函  
 ニ投スル時ハ契約完結スト言ヘルコトヲ述ヘタル訴訟事件ノ事實若シ  
 承諾狀ヲ一旦投函シタル後ニ申込者ニ於テ申込ノ取消狀ヲ出シ其取  
 消狀ノ方承諾狀ヨリモ先キニ達シタルモノナリシハ契約ハ承諾狀ノ  
 投函ノ時ヨリ成立スト述フルコトアルモ其言タル之ヲ制限シテ右ノ場  
 合ニノミ適用スヘキモノト解セサルヘカラス即チ承諾狀ヲ投シタル  
 後ハ申込者カ申込ヲ取消スコト能ハスト言ヒシモノナルコトニ解スヘキ  
 ナリ故ニ第十九ノ規則ヲ設ケタル訴訟事件ハ以テ第二十四ノ規則ニ  
 ハ適用スルコト能ハサルナリ即チ第十九ノ規則ヲ定メタル訴訟事件ア  
 ルカ爲メニ承諾狀ヲ投函シタル後ハ未ダ申込者ニ達セサル前ニテモ

Ratio decidendi

Dictum

承諾ヲ取消ス可能ハストハ謂フヲ得サルナリ然ルニ世ニハ第十九ノ規則ヲ定メタル訴訟事件ノ判決ニ一旦投函シタル時ヨリ契約成立ストアルヲ見テ直ニ第二十四ノ場合ニ適用シ此場合ニモ取消ノ効ナシト論スル者アリ蓋シ此等ノ者ハ未タ訴訟事件ヲ充分ニ解シ得サルノ輩ニシテ判決ノ理由ト理由外ノ裁判官ノ私見トヲ混シタルノ誤ナリ第二十四ノ場合ニハ英米ニテハ未タ取消ノ効ナシト一定シタルニアラス今尙ホ未定ノモノアリ既ニ未定トスレハ通則ニ從テ承諾ハ通知アルマテ効ナシト謂フヲ至當ノモノトセサルヘカラス而シテ此説タル單ニ理論ニ止マラス一ツノ實際ノ訴件アリソハダンモアト對アレキリンドルノ訴件ニシテ英國又ハ米國ニテ起リタルモノニハアラズ蘇國ニ起リタルモノナリ而シテ其實實ハ第二十四ノ場合ニ同シカリシカ取消ノ効アリト判決セリ元來蘇國ハ英國ノ一部ナレモ法律ハ

全ク格別ナルニ就キ右事件ヲ以テ英米ノ先例トナスノ効力ハナカル  
 ヘケレモ亦以テ參考トナスニ足ルヘキナリ加之ホーランド、ポロツク、  
 ラングテル等ノ諸大家ハ若シ右同様事件ノ英國若クハ米國ニ起ル  
 アランニハ必ス之ト同一ノ判決ヲ下スナルヘシト言ヘリ又印度契約  
 法ニテハ第十九ノ場合ニ引用セシカ如ク承諾ノ効ハ承諾者ニ對シテ  
 ハ其申込者ニ達スルマテ其効ナク承諾狀ヲ投函シタル後ト雖モ未ダ  
 達セサル前ナレハ之ヲ取消スヲ得ヘシトシ申込者ニ對シテハ投函  
 スルト同時ニ其効ヲ生スルモノトシ承諾者ニ對シテ承諾ノ効ヲ生ス  
 ル時ト申込者ニ對シテ其効ヲ生スヘキ時トナ同フセス斯ク定メタル  
 所以ノモノハ第二十四ノ如キ場合ニ於テ承諾者ヲシテ承諾ヲ取消ス  
 ヲ得セシメンカ爲メナリ印度法モ英米ノ先例トナルノ勢力ハナク  
 レモ第十九及ヒ第二十四ノ場合ニ適用スヘキ英米法ノ精神ヲ能ク穿

チタルモノト謂フヘシ加之第十九ノ場合ニ論シタル如ク獨逸商法伊國新商法等ニ於テモ亦第二十四ノ如キ場合ニハ承諾狀ヲ取消スヲ得ヘキモノトセシテ以テ見レハ余カ意見ノ不當ナラサルヲ證スルニ足ルヘシ

申込ト承諾トニ關スル規則ハ前回ニテ終レリ而シテ承諾申込トモニ言語舉動若クハ書面ヲ以テ爲シ得ヘキコトハ前既ニ述ヘタルカ如シ故ニ申込ニ對スル承諾アリテ一ノ契約ヲ生スル場合ヲ分析スレハ左ノ如シ

第一、言語若クハ書面ニテ申込ミ之ニ對スル單純ナル承諾アリタル場合

此單純ナル承諾ハ前ニモ述ヘタル如ク承諾者カ承諾スルニ就キ別ニ何事ヲモ爲サス又申込者ニ對スル約束モナサル場合ニシテ即チ未

行恩惠ノ偏務契約ヲ生セシムルモノナリ然ルニ英國ニテハ捺印證書  
 ナ以テセサレハ恩惠契約ハ其効ナキカ故ニ此第一ノ場合ハ捺印證書  
 ナ以テシタルトキニ限り有効ナリトス譬ヘハ甲カ乙ニ向テ或ル物ヲ  
 與ヘント言ヒ乙之ヲ賞ハント言ヒタルノミニテハ契約成立セス去レ  
 トモ甲若シ捺印證書ヲ以テシタルトキハ假令乙ハ捺印證書ヲ以テセ  
 サルモ其契約ハ成立スヘシ此事ハ捺印證書ノ説明ヲ參照セハ明瞭ナ  
 ラン

第二、言語又ハ書面ヲ以テ所爲ニ對スル申込ヲナシタル場合  
 此場合ハ前ニモ引證シタル新聞ニ廣告シテ紛失物ヲ届クル者ニハ金  
 錢ヲ與フヘシト申込ヲナシタルカ如キモノナリ受申込人ニ於テ假令  
 見付ケタラハ届クヘシト謂モ之ヲ届クルニアラサレハ承諾ノ効ナク  
 契約ヲ成立セシムルコトナシ而シテ契約上ノ責ヲ負フヘキ者ハ廣告者

ニシテ承諾者ハ毫モ義務ヲ負フコトナシ故ニ此場合ハ既行ノ偏務契約ナリトス既行ノ偏務契約トハ成立ノ際ニ既ニ實行シ終リタル約因ニ對スル契約ヲ謂フ

第三、所爲ヲ以テ申込ヲナシ承諾者ニ於テ約束スル場合ハ依頼ナキニ出入ノ商人物品ヲ置キ去リタルニ之ヲ費消シタル場合ノ如シ斯ノ如キ場合ニ於テハ出入ノ商人ハ所爲ニテ申込ヲナシタルモノニテ主人ノ之ヲ費消シタルハ相當ノ價ヲ拂フヘシト約シタルモノナリ而シテ此場合モ亦偏務ノ既行契約ナリ何トナレハ契約成立ノ時既ニ其約因ハ爲シ終リタルモノナレハナリ

右第二第三ノ場合ハ殆ント同一ニシテ只異ナル點ハ契約成立ノ後義務者トナルヘキ者第二ノ場合ニテハ申込者ニシテ第三ノ場合ニテハ承諾者ナルノ差アルノミ

第四、言語ヲ以テ申込ヲナシ言語ヲ以テ承諾シタル場合

譬へハ互ニ物品ヲ賣買スルノ約束ヲナスカ如シ此場合ニハ契約ノ成立シタル後ニ申込者モ承諾者モ共ニ契約上ノ義務ヲ負フモノニシテ即チ雙方ノ約束ハ互ニ約因トナリテ一ノ有効ナル未行雙務ノ契約ヲ生スルナリ

第五、所爲ヲ以テ申込ヲナシ所爲ヲ以テ承諾シタル場合

譬へハ現金賣買ノ場合ノ如シ賣主ハ物品ヲ渡シ買主ハ代金ヲ拂ヒ共ニ所爲ヲ以テナスナリ去レ此第五ノ場合ニハ契約成立スルコトナシ何トナレハ契約ハ成立シタル後ニ爲スヘキ義務ヲ生スルモノニテ事ヲ將來ニ期スルモノナリ然ルニ此場合ニ於テハ賣買雙方ノ對手共ニ一時ニ爲スヘキコトヲ爲シ盡シ毫モ事ヲ後ニ期スルコトナケレハナリ故ニ第五ハ契約ヲ生スル場合ト區別スル爲メニ類似ノ場合トシテ之ヲ



Holland

Holmes

舉ケタルノミ  
右ニ掲ケタル四場合ノ中第一ハ有式契約ニシテ其他ノ三場合ハ其ニ  
無式契約ナリ  
次ニ余ハ合意ハ契約ノ成立ニ必要ナリヤ否ヤ即チ申込ト承諾トハ合  
意ノ證據ニ止マルモノナルカ將々申込承諾ノ所爲即チ契約ノ原素ニ  
シテ是レサヘアレハ眞ノ合意ナキモ可ナリヤ否ヤヲ説明セン  
英米法學者ノ多數ハ申込及ヒ承諾共ニ合意ノ證據ニ過キスト言ヘト  
モ法理學ノ著者ナル<sup>ホ</sup>ーランド氏並ニ英米習慣法ノ沿革ヲ調ヘタル  
ホルム氏ノ如キハ法律上申込ト稱シ又承諾ト稱スヘキ所爲アレハ契  
約成立スルモノニシテ事實合意ノ有無ヲ問フモノニアラスト言ヘリ  
余ハ雙方ノ論者共ニ全ク之ヲ贊成スルヲ得サレトモ雙方亦一理ナキニ  
アラス何トナレハ合意カ契約ニ必要ナリトハ何人ト雖モ異説ヲ唱ヘ

サル所ナルヘケレモ法律カ人ノ頭裏ニマテ立入りテ合意アリヤ否ヤ  
 ナ知ルコトハ事實出來サルコトニシテ必ス外形ニ顯ハレタル所ヨリ之ヲ  
 推測セサルヘカラス而シテ其之ヲ推測スルノ目的ハ事實合意ノ有無  
 ナ知ルニ在リト雖モ時ニ或ハ錯誤アルヘク又時トシテハ外形ニ顯ハ  
 レタル所ニヨリテ見ルモ合意ナキコト明カナルニ一方ノ者ノ便利ヲ謀  
 リテ便宜上合意アリトナサ、ルヲ得サル場合アリ故ニ合意必要ナリ  
 ト謂フ論モ合意ハ必要ニアラス申込承諾アレハ充分ナリト謂フ反對  
 論モ各法律ノ一部分ヲ見タルノ説ト謂フヘシ然レモ余ハ合意カ契約  
 ニ必要ナリト謂フ方本則ナルヘシト信ス彼ノ事實合意ナキモ誤テ合  
 意アリトスルカ如キ場合ハ人間ノ免ルヘカラサル過失ニシテ法律ノ  
 標準トスル所ハ真正ノ合意アルヲ要スルニアリ又合意ナキコト知リ  
 ナカラ合意アリトスルカ如キハ便宜上設ケタル變例タルニ過キス凡

ソ例外ナキ規則ハ殆ソト是レナカルヘク例外アルヲ以テ其本則アル  
ヲ知ルニ足ラン故ニ申込ト承諾トニ關スル規則ノ中ニテモ前後照合  
スレハ或ハ合意カ契約ニ必要ナリト謂フ規則ニ反スルカ如ク見ユル  
規則モアルヘシ又前後牴觸スルカ如キ場合モアルヘシ去レト此等ハ  
法理ニ調和スルニ便宜ヲ以テセルノ結果ナリ元來右議論ノ分ル、所  
以ハ重ニ合意ノ必要ナリト謂フコトト事實合意ノ有無ヲ知ルコトノ  
困難ナルコトトノ二ニ原因スルモノナリ

今申込承諾ニ關スル規則ノ相牴觸スル場合ヲ擧クレハ前ニ述ヘタル  
第十九、第二十四ノ規則ニ於ケルカ如シ又合意ナキヲ明カナレモ法律  
上便宜ヲ謀リテ是レアリタルモノト看做ス場合ハ「申込ノ取消ハ通知  
ナクシハ其効ナシ」ト言ヘル規則ニ依ルモ自ラ明カナラン凡ソ申込ヲ  
取消スノ心生シタルノミニテハ未タ明カナラサレモ既ニ之ヲ認タメ

テ郵便ニ投函シタル以上ハ取消ノ意外形ニ顯ハレタルモノナリ然ルニ尙ホ取消ノ効ナシト謂フモノハ先方ニ於テ反對ノ通知ヲ得サル以上ハ前ノ申込ヲ受ケツ、アルモノト看做サ、ルヲ得サレハナリ併シ別ニ便宜上通則ヲ破フル丈ノ必要ナキハ眞正ノ合意ヲ要スルコトハ「申込ハ通知ヲ待テ其効ヲ有ス」ト言ヘル規則及ヒ「承諾ハ通知ヲ待テ其効ヲ生ス」ト言ヘル規則及ヒ「申込承諾符合セサレハ契約成立スルコトナシト言ヘル規則等ニヨリ考フルモ之ヲ知ルヲ得ヘシ

若シ法理上合意ハ契約ニ必要ナラスト言ハ、錯誤、詐欺、脅迫等ノ事アルモ契約ノ成立ヲ妨ケスト言ハサルヲ得サルニ至ラン然ルニホーランド氏ノ如キハ同書ノ一部分ニ於テハ合意ハ契約ニ必要ナラスト言ヒナカラ他ノ部分ニ於テハ錯誤等アレハ契約ノ成立ヲ害スヘシト言ヘリ其矛盾セルコト一見シテ知ルヘシ又ホルム氏ハ曰ク錯誤、詐欺等ハ

契約ノ成立ヲ害スルモノニアラス苟クモ法律上申込承諾アレハ事實  
申込者又ハ承諾者カ間違ヘルコアルモ錯誤ヲ理由トシテ契約ノ成立  
セサリシコト主張スルヲ得ス併シ契約ヲ結フニハ目的物トナルモノ  
アリ故ニ申込及ヒ承諾上ノ言語ヲ考フレハ雙方符合セルカ如クナル  
モ之ヲ目的物ニ適用スルニ當リテハ二者ノ間ニ異議ヲ生スルコトアル  
ヘシ斯ル時ハ合意ナキニハ非サレモ申込ト承諾トノ外形ニ顯ハレタ  
ル所爲自ラ牴觸スルモノニシテ契約成立スルコトナシ譬ハハ保險契約  
ヲ受ケントスル人カ建物ノ保險ヲ申込ミ其申込ノ中ニハ器械店ノ建  
物ト記セリ然ルニ其建物ハ實ハ器械店ニアラスシテ一層危険多キ或  
ル製造所ナリシカ此契約ハ成立セスト判決セラレクシ蓋シ契約書ニ  
記シタルコト契約ノ目的物ト雙方共ニ契約ノ成立ニ必要ナル原素ノ  
間ニ牴觸スルコトアリシヲ以テナリト去レハ言語上申込ト承諾トノ間

ニ少シニテモ齟齬スル所アルカ又ハ申込及ヒ承諾ノ示シタル目的物ト契約上ノ言語ト齟齬スルヲアラハ決シテ契約ヲ成立セサルモノトスルカホルム氏ハ是ヲ然ラスト言ヘリ然ラハ則チ如何ナル時ニ契約成立セサルカト謂フニ契約上ノ言ト契約上ノ事柄トノ各緊要チル點ニ就キ差異アリテ其牴觸シタルモノ、一チ省クキハ對手雙方ノ結約セントシタルヲヨリ大ニ異ナリタル結果ヲ生スルカ如キ場合ニアラサレハ契約成立スルモノナリト謂ヘリ是ニ由テ之ヲ觀レハ契約ノ成立チ妨ケサル牴觸ト之ヲ妨クヘキ力アル牴觸トノ區別ハ矢張結約對手ノ意思ヲ標準トシテ定ムルニ非サレハ之ヲ區別シ能ハサルヘシ故ニホルム氏ノ説ト雖モ亦結約對手ノ意思ハ毫モ法律上問フ所ニアラスト謂フニハアラサルカ如シ余ハ合意ヲ以テ契約成立ニ必要ナリトスルチ原則トスレト時ニ合意ナキモ之レアリト看做スコアルハ便宜

上ノ例外ナリト思考スルナリ  
 以上合意ノ事ヲ講述シタルハ是ヨリ約因ノ事ヲ説明スヘシ約因トハ  
 英語ニテ之ヲ<sup>は</sup>「コンシデレトシヨン」ト稱シ或ハ報償ト譯ス其譯字ハ異  
 ナレトモ共ニ幾分カ原語ノ意義ヲ寫シタルモノナリ去レト皆完然ナ  
 ル譯字ニアラス譯字ニ拘泥シテ誤解スヘカラス爰ニ約因ト稱シタル  
 ハ契約ノ原因ト言ヘルヲ畧稱シタルモノナリ契約ノ原因トハ法律上  
 約束ヲシテ契約ノ効アラシムルニ必要ナル一原素ヲ言フ約因ハ先ツ  
 約束ヲナス人ノ約束スル理由即チ約束者ノ主旨ト考ヘテ大差ナシ去  
 レトモ法律上ニテ所謂約因ト稱スルモノハ單ニ理由ト言フヨリハ其  
 區域狹シ  
 凡ソ英米ノ法律ニテ約因ノ定義ヲ下シタルモノハナケレド或ル訴訟  
 事件ニ於テ裁判官ノ述ヘタル言ニシテ能ク約因ノ性質ヲ解明シタル

Valuable consideration

Good Consideration

モノトシテ常ニ引用セラル、モノアリ其言ニ據レハ法律上有價值ノ  
約因トハ一方ノ者ノ得ル所ノ權利、便宜若クハ利益又ハ他ノ一方ノ者  
ノ負擔スル所ノ義務又ハ受クル所ノ損害若クハ不便ナリト此約因ノ  
解明ノ中ニ一方ノ得ル云々ト言ヘルハ義務者即チ約束者ヲ指シ他ノ  
一方ノ者トハ權利者即チ受約者ヲ言ヒタルナリ而シテ初メ有價值云  
々トアルハ英語ニテ「バリエューブル、コンシデレートシヨント」稱スルモ  
ノチ「グッド、コンシデレートシヨント」ヨリ區別シタルナリ此二者ノ區別ハ  
今日ニテハ必要ナラサレトモ往時ニテハ必要ナリシ「グッド、コンシデ  
レートシヨント」ハ近親ノ者ニ對スル愛情等ノ事ヲ言フ此二種ノ區別ハ  
後ニ至リ再ヒ説明スヘシ

此約因ノ解明ハ今日英米法ニテ言フ所ノ約因ノ解明ニシテ之ヲ充分  
ニ理解セント欲セハ未ダ法律カ充分約束ニ義務ヲ生セシムルノ効ア



リトセサリシ時ニ溯リテ研究セサルヘカラス古代英國ニテ「コンシヅ  
レ」シヨ「ン」即チ約因ト稱シタルハ今日言フ如キ意義トハ少シク異ナ  
レリ故ニ左ニ之ヲ説明スヘシ  
今日稱スル所ノ約因ヲ分析スレハ二種トナスコトヲ得ヘシ其第一ハ負  
債訴式ヲ以テスヘキ訴ノ原因トナルモノニシテ單ニ之ヲ稱シテ負債  
ノ約因ト言フ負債ノ約因トハ負債者ノ現ニ受ケタル利益ヲ言フ譬ヘ  
ハ金ヲ借ル時ハ返却ノ義務ヲ生スヘシ其原因ハ金錢ヲ借リタルニア  
リ物ヲ買ヒタルキモ亦同シク買主ニ於テ代價ヲ拂フヘキ義務ノ原因  
ハ賣主ヨリ物ヲ買ヒ取リタルニ在リ此負債ノ原因ハ法律カ未タ契約  
ノ本體ヲ認メサリシ前ヨリアリタルモノニテ契約ノ沿革ヲ論シタル  
時既ニ説明シタルカ如ク約因ヲ以テ契約ノ原因トシタルニアラス負  
債即チ義務ノ原因ニシテ約義務ハ羅馬ノ物約ト同シク約束ノ無効ニ

係ラスシテ生スルモノトセシナリ其後法律カ約束ニヨリ義務ヲ生ス  
 へシトスルニ至リテモ即チ約束訴式ヲ生シタル後ニテモ尙ホ従前ノ  
 負債訴式ト共ニ兩者並存シタルヲ以テ後ニハ物ヲ現ニ買ヒタル場合  
 或ハ金ヲ借リタル場合等ニシテ従前ハ現ニ受ケタル利益ヲ以テ原因  
 ト看做セシモ後ニハ賣買或ハ貸借等ノ約束ニヨリテ代價ヲ拂ヒ又ハ  
 金ヲ返ス義務ヲ生スル如ク看做スニ至リ始メテ負債ノ原因ノ性質ヲ  
 變シ之ヲ約束ノ原因ト看做スニ至レリ  
 併シ負債訴式ヲ以テ訴フヘキ場合ハ矢張従前ト異ナルヲナカリシカ  
 故ニ此時ニ當リテハ未タ受約者カ損失ヲ受ケシナラハ爲約者ノ約束  
 ナ有効ナラシムヘシトハ爲サスシテ猶ホ爲約者ノ現ニ利益ヲ受クル  
 ヲ必要トセリ然ルニ約束訴式ヲ生シ此訴式ヲ用フルノ盛ニナリ  
 シ後ニ法律ノ見ル所ニテハ約束カ原因トナリテ義務ヲ生スルモノト

セシテ以テ必ラスシモ爲約者カ利益ヲ受クルヲ必要トセス受約者  
カ損失ヲ受ケタルニテモ充分ナリトスルニ至レリ其主旨ハ爲約者カ  
利益ヲ得サルニセヨ受約者ニテ約束ヲ受クルカ爲メニ損失ヲ蒙フル  
事アルハ其約束ヲシテ有効ノモノトナサ、ルヘカラス何トナレハ  
若シ斯クセサルハ約束者ニ於テ漫リニ人ニ損失ヲ蒙ラシムルヲ  
ナ得ルニ至レハナリト云フニアリ之ヲ以テ約束訴訟ニ於ケル約因ハ  
受約者ノ損失ニテモ可ナリ又受約者ヨリ爲約者ニ對シテ爲ス反對ノ  
約束ニテモ充分ナリ即チ更ニ之ヲ約言スレハ負債ノ約因ニ必要ナル  
條件ナキモ可ナリトスルニ至レリ故ニ第二種約因ヲ生シタル後ハ前  
ニ掲ケタル約因ノ解明ニ於ケルカ如ク二者孰レニテモ契約ヲ有効ナ  
ラシムルニ充分ナルヲトナレリ今日英米法ニ於テ約因ト言フハ負債  
ノ約因ト約束訴訟ノ約因トヲ併稱スルモノナリ斯ノ如ク約因ニ二種

アリテ之ヲ混同セサルコト約因ノ性質ヲ知ルニ必要ナレトモ第二ノ種類  
 即チ約束訴式ノ約因ニテモ普通ノ場合ニハ爲約者カ受クル所ノ利益  
 ナルコトヲ注意セサルヘカラス  
 約因ノ解明ヲ理解スルニ當リ先ツ注意スヘキコトハ約束ヲナスコトハ其  
 約束ノミニ就キ之ヲ論スレハ必ス爲約者ノ損失ト言フコトナリ何トナ  
 レハ若シ約束ヲナシ、レハ義務ヲ負フコトナキニ約束シタルカ爲メニ  
 義務ヲ負フモノナレハナリ又受約者ニ就テ言ヘハ約束ヲ受クルコトハ  
 其事ノミニ就テ言ヘハ必ラス利益ナリ何トナレハ約束ヲ受ケタルカ  
 爲メ之ヲ受クルコトナクンハ得ヘカラサル利益又ハ權利ヲ得ヘケレハ  
 ナリ去レハ單純ナル約因ナキ場合ニ就テ考フレハ爲約者ハ常ニ損ヲ  
 ナシ受約者ハ必ス利益ヲ得ルモノナレトモ約因アル場合ニ於テハ其代  
 ハリニ爲約者ニ於テ約束外ノ利益ヲ得ルカ又ハ受約者ニ於テ損失ヲ

蒙フルヘシ譬へハ茲ニ貸借アリトセンニ借主カ義務ヲ負擔スルハ不利益ナレト其代リニ金ヲ借リタルノ利益アリ貸主ニハ返濟ヲ得ルノ利益アレト其代リニ前ニ金ヲ貸シタルノ損失アルカ如シ又物品ヲ渡タシ未タ代價ヲ拂ハサル賣買ノ場合ニテモ買主ハ代價ヲ拂フノ不利益アレト前ニ物品ヲ受取リタルノ利益アリ賣主ハ代價ヲ受取ルノ利益アレト前ニ物品ヲ渡シタル損失アルカ如シ又若シ先ツ代價ヲ拂ヒ未タ物品ヲ得サル場合ニ於テモ是ト同理ナリ又單ニ賣買ヲ約シタルノミニテ未タ孰レモ其約束ヲ履行セサル場合ニ於テモ之ト同シ何トナレハ相互ノ約束互ニ約因トナレハナリ故ニ法律カ約束ヲシテ契約ノ効ヲ有セシムルニ約因アルコト必要トスルハ約束ニモ利益ヲ得ヘキ者ヲシテ徒手利益ヲ得ルコトナカラシメシカ爲メナリ凡ソ約束ト約因トハ互ニ之ヲ交換スルノ主意ニ出テタルモノト解スヘシ

Cause

Causa

約因ニ關スル規則ヲ講述スルニ當リ先ツ英米法ノ約因ト羅馬法ヲ繼  
受シタル佛國民法ニ謂フ所ノ原由ト異ナル點ヲ講述スヘシ  
佛國民法ニ所謂原由ト稱スルモノハ原語ニテ「コーズ」ト言ヒ羅馬法ニ  
「コーザ」ト言フ所ノ者ト同シ佛國ニハ成典アレモ原由ハ如何ナル性質  
ノモノナリヤ之カ定義ヲ下シタルコトナシ唯契約ノ成立ニ必要ナル原  
素ノ一ニ原由トアリ又第一千百三十一條ニハ原由ナキ契約又ハ詐欺ノ  
原由アル契約若シハ不適當ノ原由アル契約ハ無効ナリト記セリ此箇  
條ヲ解釋スル者ノ說明ヲ見ルニ英國法ノ約因ヨリ廣キカ如シ佛國民  
法ニ言フ要償ノ契約ノ場合ニ於テ原由ト言フモノハ先ツ英國法ノ約  
因ト同一ナリト言ツテ可ナルヘシ然レモ恩惠契約ノ場合ニ於テハ大  
ニ英米法トハ異ナレリ佛國學者ノ說ニヨレハ斯ル契約ハ爲約者カ  
人ニ利益ヲ與ヘントスル主意或ハ人ノ恩誼ニ報ユル主意即チ原由ナ

リト言ヘリ英米法ニテハ斯ノ如キ道德心ハ法律ノ問フ所ニアラス約  
因ハ必ス幾分カ金錢ニテ量リ得ヘキ價值アルヲ要ス之ヲ以テ見レハ  
英米法ノ約因ハ佛國法ノ原由ヨリ其區域狹シ佛國法ニテハ約束者ニ  
結約ノ主意サヘアレハ其他ニ何物モ要スルコトナク苟モ合意真正ナラ  
サルカ又ハ詐欺ノ如キ瑕瑾アルカ若クハ反法等ノ事アルニアラサレ  
ハ其契約ハ充分ニシテ其餘ニ約因アルヲ要セサルカ如シ佛國法ノ原  
因ハ一箇獨立ノ要素ニハアラスシテ合意ノ眞否ヲ推知スルノ證據タ  
ルニ過キスト思ハル、也英米法ノ約因ハ殆ント英米固有ノ者ト稱ス  
ルモ可ナルヘシ現ニ印度ノ如キハ英國ノ領地ナレト尙ホ佛國法ニ摹  
倣シ人ニ道德上善ヲ爲スヲ又ハ愛情等ヲ以テ契約ノ原由トスルニ充  
分ナリトセリ約因ノ本體ハ約束ノ理由トスレハ或ハ佛國法印度法ノ  
規則ヲ可トスヘケレトモ英米法ニテハ約因ヲ以テ單純ニ約束ノ理由ト

ハナサス約因ハ必ス金錢ニ積リ得ヘキモノナルヲ要スルナリ蓋シ斯  
 ク定メタル所以ハ道德ノ範圍ニ屬スヘキモノト法律ノ範圍ニ屬スヘ  
 キモノトナリ判然區別シ約因ナキ約束ハ一ニ道德ノ制裁ニ任スヘシト  
 ノ考ニ出テタルモノニシテ實際ニ適セルモノト信スルナリ契約ノ沿  
 革ヲ論シタル所ニ於テ述ヘタル如ク英國ノ法律ニテ約束ニ依リ義務  
 ナ生スト看倣シタルモノハ約束シテ夫レカ爲メニ約束者カ利益ヲ得  
 タル時カ又ハ受約者カ損失ヲ蒙フリタル場合ニ其約束ヲ有効ナラシ  
 メサルトキハ約束者カ不正ノ利益ヲ得受約者カ謂レナキ損失ヲ蒙フ  
 ルニ至レハナリホルム氏ハ英米法ニテ約因ヲ必要トスルハ全ク約束  
 ナ爲スノ意思アリシカ否ヲ知ルヘキ一ノ證據ニ止マリ約因ハ性質上  
 約束ノ成立ニ必要ナリトスルニアラス約因モ亦一ノ式ニ過キサルナ  
 リ然ルニ何時ノ頃ヨリカ終ニ約因ヲ以テ契約ニ必要ナル原素トスル



ニ至レリト主張セリ若シ此說ニシテ果シテ其當チ得タラノニハ英國ノ約因モ亦佛國ノ原因ト異ナルヲナカルヘシト雖モ余ハ此說ニ服スルチ得ス

以上述ヘタル如クナルチ以テ英米法ニテハ單ニ約束スルモ約因アルニアラサレハ法律上契約ノ効ナク大ニ佛國ト異ナル所アリ前ニモ述ヘタル如ク約束訴式ヲ生スル前ニハ法律上約束カ義務ヲ生スルヲ承認ムルコトナク法律ノ契約ノ効アリトスルモノハ現ニ利益ヲ得ルコト原因トナリテ生スル物約ノ性質アル契約ノミナリシカ約束訴式ヲ生シタル後ハ約束ニ約因ノ加ハル片ハ義務ヲ生スルニ足ルト謂フコトナレリ去レトモ約因ナキモ約束ノミニテ義務ヲ生スヘシトハ未ダ認めサル所ニシテ將來ニ至ルト雖モ斯ルコトハナカルヘシ

以上約因ノ大體ニ關スル説明ヲ爲シタレハ是ヨリ約因ニ關スル規則

夫講述スヘシ  
 第一、凡テ常種契約ノ成立ニハ約因アルヲ必要トス  
 常種契約ノ成立ニ約因ノ要用ナルヲハ訴訟ヲ起サントスル原告人ニ  
 於テ必ス約束並ニ約因ノ兼備セルヲ證明スルニアラサレハ裁判所  
 ニ於テ其訴ヲ受理セサルヲ以テ知ルヘシ去レハ商業上ノ慣習ニヨリ  
 流通證書ノ場合ニハ原告人ニ於テ約因アリタルヲ證明スルノ任ナ  
 シ是レ流通證書ト雖モ常種契約ノ一種ナレハ約因ノ必要ナキニハア  
 ラサレハ只此場合ニハ便宜上約因アルモノト推測スレハナリ被告若  
 シ約因ナキヲ證明シ得ルハ其責ヲ免ル、<sup>5</sup>ヲ得ヘシ是レ英米法  
 學者カ一般ニ説ク所ナリ然ルニラングデル氏ハ異説ヲ唱ヘテ曰ク凡  
 ソ捺印契約及ヒ記録契約ヲ除ク其他ノ契約即チ常種契約ニハ却テ約  
 因ヲ必要ナリトスルハ必竟英米固有ノ法律ニシテ博ク歐洲一般ニ行

ハル手形法ニハ通用シ得ヘキモノニアラズ流通證書ニハ元來約因ニ  
必要トセサルモノナレトモ英米ノ學者ハ約因アルヲ必要ナリトシテ無  
理ニ約因アリト推測スルモノ、如ク解釋スルナリ元來約因ノ必要ナ  
ル規則ハ流通證書ノ場合ニ適用スヘカラサルモノナルコト左ニ說明  
スルヲ見テ知ルヘシ(第一)若シ約因ヲ流通證書ニ必要ナリトセハ既ニ  
存在スル負債支拂ノ爲メニ將來ニ在ツテ支拂ヲヘキ手形ヲ作ルヲ能  
ハサルヘシ何トナレハ後ニモ説明スルカ如ク凡ソ約因ハ結約ノ當時  
ニ非ズシテ既往ニ在リタルモノハ其効ナシトスレハナリ然ルニ英米  
法ニテハ斯ル手形ヲ無効トセスシテ有効ナリトスルハ流通證書ニ約  
因アルヲ要スト言フ規則ニ撞着スルモノト言フヘシ(第二)若シ流通證  
書ニ約因必要ナリトセハ爲換手形ノ受取人ハ決シテ引受人ニ對シテ  
訴ヲ起スル能ハサルヘシ何トナレハ受取人ハ自カテ引受人ニ對シテ

約因ヲ提供スルヲナク又手形ノ引受ヲ受クルニ就テ其他ノ人ニ約因  
 ナ出スヲモナクシテ引受人ヨリ手形面金額支拂ノ約束ヲ受クルモノ  
 ナレハナリト  
 甲ヨリ乙ニ對シテ手形ヲ作り之ヲ丙ニ渡ストセシニ此場合ニ於テハ  
 甲ヲ振出人ト言ヒ乙ヲ被振出人ト言ヒ丙ヲ受取人ト言フ丙ハ甲ヨリ  
 右ノ手形ヲ受取り自ラ乙ニ持行キテ其引受ヲサシムルカ又ハ之ヲ  
 丁ニ讓渡スヲアルヘシ丙其手形ヲ丁ニ渡セハ丙ヲ裏書人ト稱シ丁ヲ  
 被裏書人ト言フ裏書人ハ讓渡人ト言フト同シク被裏書人ハ讓受人ト  
 言フモ同シ而シテ現在其手形ヲ所持スル者之ヲ所持人ト云フ所持人  
 若シ手形ヲ被振出人ニ持行キテ其引受ヲ得レハ右ノ被振出人ヲ稱シ  
 テ引受人トハ言フナリ  
 右手形ヲ振出スヘキ場合ハ譬ヘハ甲、丙ニ負債アリ乙亦甲ニ負債アリ

テ甲ハ丙ニ其負債ヲ拂フ代ハリニ乙ヲシテ己ニ拂フヘキ金額ヲ丙ニ  
拂ハシムルニアリテ乙若シ之ヲ拂ヘハ甲ハ丙ニ對スル負債ヲ免レ乙  
又甲ニ對スル負債ヲ免ル、モノトス手形ノ振出人ハ受取人ニ對シテ  
手形面金額支拂ノ保證人タリ被振出人若シ手形ヲ引受ケサルカ又ハ  
之ヲ引受クルモ實際拂ハサルキハ代ツテ拂フヘシト保證スルモノナ  
リ而シテ受取人若シ其手形ヲ他人ニ讓渡シタルキ即チ裏書人トナリ  
タルキハ亦保證ノ義務ヲ負フモノトス然ルニ若シ流通證書ニ約因ヲ  
要ストセハ所持人ハ引受人ニ對シテ訴ヲ起スヲ能ハサルヘシ何トナ  
レハ所持人ハ引受人ニ約因ヲ提供シタルトナケレハナリ素ヨリ所持  
人ハ甲ヨリ受取ルヘキ金額アリテ其代ハリニ手形ヲ受取リタルナレ  
ト右ハ引受ノアリタル前ノ事ニテ以テ約因トハナス能ハサルナリ  
又乙ハ甲ニ拂フヘキ金ナク甲モ又丙ニ拂フヘキ負債ナシト雖モ融通

又爲メニ甲ヨリ乙ニ對シテ丙ニ拂フヘキ手形ヲ作り丙若シ約因ヲ得  
 テ之ヲ丁ニ讓渡シタルモ丁乙ヨリ手形ノ引受ヲ受ケテ之カ支拂ヲ得  
 サルモ丁乙ニ對シテ訴フルコトヲ得ヘシ右ノ場合ハ全ク丙融通ノ爲  
 メニ手形ヲ振出シタルモノニシテ引受ヲナシタル乙ニハ毫モ甲若ク  
 ハ其他ノ人ニ拂フヘキ負債ナク全ク約因ナキナリ然レモ尙ホ丁ヨリ  
 訴ヘラ、ル所以ノ者ハ蓋シ手形ノ場合ニハ約因ヲ要セサル一證ナリ  
 去レモ直接ノ對手間ニ在リテハ普通ノ契約ノ場合ニ均トシ譬ヘハ讓  
 渡人ト讓受人、振出人ト受取人トノ間ノ如キハ通常ノ契約ト毫モ異ナ  
 ラサルナリ一例ヲ舉ケテ説明スレハ前例ニ於テ乙カ丁ニ對シテ拂ハ  
 サルモ丁ハ甲及ヒ丙ニ對シテ請求スルノ權アリ故ニ丁若シ丙ヲ訴ヘ  
 丙其金額ヲ拂フタルモ丙ハ之ヲ甲ニ對シテ請求スルノ權アルヘキ  
 筈ナリ然ルニ丙ハ約因ナクシテ甲ヨリ其手形ヲ得タル者ナレハ甲ヲ

訴フルコ能ハサルナリ是レ甲ト丙トハ直接ノ對手ナレハナリ手形若シ一タヒ約因ヲ出ダシタル第三者ニ移リタル以上ハ最初約因ナカリシモ尙ホ訟求スルノ權アルナリ是レ約因ヲ供給スルコトナキ者ハ契約上ノ權利ヲ得ルコ能ハストスル原則ニ反スルモノナリ之ヲ以テ見レハ手形ノ場合ニハ約因アルヲ要セスト言フテ不可ナキカ如シ

## 第二 法律ハ約因ノ約束ニ相當セルヤ否ヤヲ問ハス

負債ヲ生セシムル所ノ約因ハ負債ト相當セルヲ必要トス何トナレハ負債ノ約因ハ實ハ約因即チ契約ノ原因ニハアラスシテ百圓ヲ借りタルコトアレハ(約束ノ有無ニ拘ハラズ)之ヲ返スノ義務ヲ生シ右ノ百圓ヲ受取リタルコトカ其原因タルモノナレハナリ此事ハ負債ノ訴式ニ於ケル約因ヲ述ヘタル時ニ於テ既ニ悉シタリ然レモ今日英米法ニ於テ謂フ所ノ約因即チ約束訴式ニ於ケル約因ハ

決シテ約因ノミナ以テ義務ヲ生セシムル所ノ原因トスルニハアラス  
 故ニ法律上約因アルコトヲ必要トスレヒ其果シテ約束ニ相當セリヤ  
 否ヤハ結約對手ノ自ラ判斷スヘキコトニシテ約束ヲナス者ハ約因ヲ  
 得ルヲ目的トシ約因ヲ供給スル者ハ約束ヲ受クルコトヲ目的トシタ  
 ルモノトスルナリ之ヲ以テ法律上約因ト稱シ得ヘキモノアルトキハ  
 法律ハ結約對手間ニ在リテハ約束ト約因ト同一ノ價アルモノト看做  
 シタルモノトス假令局外人ヨリ見レハ十圓ノ價アルヘキ物ヲ二十圓  
 若クハ五十圓ニテ買フコトアルモ買主ハ特別ノ情實アリテ斯ク高價  
 ニテ買ヒタルヤモ知ルヘカラス而シテ其特別ノ情實ハ局外人ノ知リ  
 得サル所ニシテ又法律ノ知ラサル所ナリ買主カ二十圓又ハ五十圓ニ  
 テ買ハントノ約束ヲナシタルハ取モ直サス買主カ自己ニ取リテハ二  
 十圓又ハ五十圓ノ價アリトシタルコトヲ顯ハシタルモノニシテ法律



ハ其後ニ至リ代價不相當ノ理由ヲ以テ違約スルコトヲ許サス若シ法律ニ於テ強テ約束ト約因ト匹敵スルコトヲ必要トセハ是レ締約者ニ於テ任意ニ締約スルニハアラスシテ法律カ締約セシムルニ同シ故ニ如何ナルコトニテモ受約者カナスニ及ハサルコトヲナシタルトキハ爲約者ノ約束ヲ有効ナラシムルニ充分ナリトスルナリ實例ヲ擧ケンニ甲者土地ヲ有シ乙ハ其土地ニ關シ毫モ權利ヲ有セザリシカ甲者乙ニ向ヒ汝若シ其土地ニ於ケル權利ヲ放棄スヘキ證書ヲ作ラハ余ハ汝ニ金若干ヲ拂フヘシト云ヘリ此場合ニ於テ乙者現ニ其證書ヲ作りタルモ甲ハ約束ノ金額ヲ拂ハサルニヨリ出訴セシカ右甲乙間ノ契約ハ成立シタルモノニ付甲ニ違約ノ責アリト判決セラレタリ凡ソ契約ノ有効ナルニハ約因アルヲ要スルモノナレハ此場合ニ於テ約因タリシモノハ如何ト云フニ乙カ免除ノ證書ヲ認メテ之ヲ甲ニ渡シタルコト

即チ是ナリ乙ハ右ノ土地ニ關シ毫モ權利ヲ有セサルカ故ニ之ヲ放擲  
 スヘキ約束ヲナスモ甲ニ毫モ利益ナシト雖モ乙ハ金錢ノ仕拂ヲ受ケ  
 ンカ爲メニ自ラ好マサレハ爲スニ及ハサル所ノ事ヲナシタルモノコ  
 シテ即チ受約者カ不便若クハ損失ヲ蒙リタルモノナリ故ニ此不便ヲ  
 蒙リタルコトヲ以テ約因トスルニ足ルトナシタルナリ  
 又或ル場合ニテハ捺印證書ヲ差示シタルコトノミニテ約因トスルニ  
 足ルトシ或ル場合ニ於テハ受約者ニ於テ訴權アルコトヲ證明スルコ  
 トヲ以テ約因トスルニ足ルトシ或ル場合ニテハ差引計算ヲシタルノ  
 ミニテ金ヲ拂フヘキ約束ノ約因トスルニ足ルトシ又或ル場合ニ於テ  
 ハ受約者ノ所有ニ屬スル手紙ヲ爲約者ニ渡シタルコトノミニテ爲約  
 者ヨリ金錢ヲ拂フヘキ約束ノ約因トスルニ足ルトシタルコトアリタ  
 リ今此最後ノ場合ヲ詳説センニ甲者訴訟ヲ起シ自分ニ訴權アルコト

ヲ證明スル爲メニ第三者ノ手ニアル手紙ノ必要ナリシカ故ニ其者ニ  
向ヒ汝若シ余ニ其手紙ヲ貸渡ストキハ余ハ其手紙ヲ以テ余ニ訴權ア  
ルヲ證明シ愈勝訴ニナリタル上ハ汝ニ金若干ヲ拂フヘシト云ヘリ  
第三者ハ即チ其手紙ヲ甲ニ貸渡シ甲ハ之ニ依テ終ニ勝訴トナレリ此  
場合ニ於テ手紙ヲ貸渡シタルコトヲ以テ其契約ヲ有効ナラシムル所  
ノ約因トスルニ充分ナリトセリ而シテ右ノ金額ハ非常ニ多額ナリシ  
モ尙ホ甲者ハ之ヲ拂ハサルヘカラスト判決セリ此レ法律上約因ト約  
束トノ相當セルヤ否ヤヲ問サハルノ一證ナリ  
又或ル場合ニ於テハ辨償ノ契約ヲ爲スコトヲ以テ約因トナスコトヲ  
得ヘシトセリ其事實ハ手形ヲ紛失シタル所持人ヨリ引受人ニ向テ其  
手形面ノ金額支拂ヲ請求シタルニ引受人ハ之カ支拂ヲ拒メリ蓋シ所  
持人ハ金額ノ支拂ヲ受クルト同時ニ其手形ヲ渡サハルヘカラサルモ

ノナルニ此場合ニ於テハ所持人ノ渡スヘキ手形ナカリシヲ以テナリ  
 其時引受人ノ言ニ紛失シタル手形ハ何人ノ手ニ渡リ居ルヤモ知レズ  
 故ニ今汝ニ仕拂ヲナスモ他日再ヒ手形ヲ所持スル者ヨリ請求セラル  
 ヲノ恐アリ故ニ汝ニシテ若シ斯ル場合ノ生スルコトアルトキハ其金  
 額ヲ辨償スヘキ約束ヲナサハ請求通り手形面ノ金額ヲ拂フヘシト云  
 へリ依テ所持人ハ其言ニ從ヒ辨償スヘキ約束ノ書面ヲ作りテ之ヲ引  
 受人ニ渡シタルニ尙ホ支拂ハサリシヲ以テ出訴セシカ裁判所ハ引受  
 人ニ違約ノ責アリト判決シタリ  
 又或ル場合ニテハ甲者ノ專賣免許ヲ得タル事柄ヲ乙者ニ於テ爲スコ  
 トヲ許シ乙ヨリ甲ニ對シテ約束ヲナシタリシカ實際右ノ專賣免許ハ  
 無効ナリシニモ拘ラス右ノ契約ハ有効ナリトモリ  
 右約束ト約因トハ匹敵スルヲ要セストノ規則ハ理由ナクシテ英米法

カ漫リニ定メタルノ規則ニアラスホツプス氏曰ク結約シタル事柄ノ價ハ結約者ニ於テ其事柄ヲ希望スル所ノ熱度ニヨリテ之ヲ計ラサルヘカラス故ニ結約者カ互ニ與ヘントスルノ價即チ正當ノ價ナリト氏ハ法學者ニアラサレトモ能ク英米法ノ精神ヲ穿チタルノ言ト謂フヘシ

第三 約因ハ約束ト匹敵スルヲ要セサレトモ法律上幾分カノ價値アルヲ必要トス

第二ノ場合ニ述ヘタル如ク約因ハ約束ニ相當セルヤ否ヤヲ問フコトナシト雖モ法律ノ眼ヨリ視テ幾分カノ價値アルモノナルヲ要ス故ニ一見スレハ約因トナリ得ヘキカ如キモノト雖モ法律上約因ト爲スコトヲ得サモルノアリ左ニ説明スヘシ

(一) 法律上若クハ事物ノ性質上爲シ能ハサルノ事柄ヲ爲スヘ

凡ソ法律上爲シ能ハサルノ約束及ヒ事物ノ性質上爲シ能ハサルノ契約ハ無効ニシテ無効ノ契約ハ法律上無キト一般ナリ故ニ又他ノ契約ノ約因トモナルコト能ハサルモノトス此事ハ契約ハ法律及ヒ其性質上履行シ得ヘキモノナルコトヲ要スルト云フコトヲ述フル場合ニ至リテ詳述スヘシ

又餘リ漠然トシテ如何ナル事ヲ約束シタルモノナルカ法律上之ヲ定ムルコト能ハサルカ如キ約束ハ無効ニシテマタ約因トモナルコトヲ得サルナリ譬ヘハ前ニモ述ヘタル如ク子カ親ニ向テ苦情ヲ鳴ラサルヘシト云フカ如キコトハ漠然トシタルコトニシテ約因タルヲ得ス法律上無効ナリシカ爲メニ約因タルヲ得サリシ實際ノ例ヲ舉ケレハ捺印證書ヲ以テセサレハ移轉スルコト能ハサル無形ノ相續産ヲ口頭

ニテ移轉セントスルモ其効ナキカ故ニ移轉ヲ受クヘキ人ヨリ移轉ヲ爲スヘキ人ニ對シテ爲シタル約束ハ無効ナリ併シ此場合ニ於テ移轉スヘキ約束ヲ以テ約因トシタルトキハ此限ニアラス(因ニ云フ無形ノ相續産トハ寺院ノ住職ヲ指示スヘキ權利ノ如シ此權利ハ相續人ノ相續スヘキモノナルカ故ニ不動産即チ相續産ナレトモ目的物ナキ無形ノ權利ナルヲ以テ無形ノ相續産トハ云フナリ)

又或ル實例ニ原告人ハ甲ノ雇人ニシテ被告人ハ甲ニ對シ二十磅ノ負債アリダリ然ルニ原告人ニ於テ右ノ負債ヲ免除スルコトヲ約因トシテ小舟修繕ノ爲メ被告人ヨリ四十磅ノ金ヲ受取ルヘキ約束ヲ受ケタルモ被告人ニ於テ之ヲ拂ハザルニヨリ出訴セシカ裁判所ハ判決シテ曰ク原告人カ其主人ノ債主權ヲ放棄セントスルモ爲シ得ザルノ事柄ニシテ法律上被告ニ於テ何事モ爲サ、リシニ同シク約因タルヘキモ

ノアルコトナシ故ニ被告ニ違約ノ責ナシト

(二) 法律上爲約者又ハ其他ノ人ニ對シテ當サニ爲サ、ルヘカ

ラサル事ヲ爲シ又ハ爲スヘシト約スルコトヲ以テ約因ト

ナスヲ得ス又之ト均シク爲約者又ハ其他ノ人ニ對シ爲ス

ヘカラサルコトヲ爲サス又ハ爲サ、ルヘシト約スルモ以

テ約因トスルニ足ラス

右ノ規則ニハ一ノ疑ヲ容ルヘキモノナカルヘシ受約者カ既ニ爲約者

又ハ其他ノ人ニ向テ爲サ、ルヘカラサルコトヲナシ又ハ爲スヘカラ

サルコトヲ爲サ、リシニ過キサルモノナレハ更ニ契約ヲ有効ナラシ

ムルノ力ナカルヘキハ當然ナリ譬ヘハ余甲ニ向テ百圓ヲ拂フヘキ義

務アリ然ルニ余甲ニ向テ右ノ百圓ヲ拂フニ付其代リニ物品ヲ與フヘ

シト云フカ如シ又何人ニテモ余ヲ打ツヘカラサルノ義務アルハ當然



ノコトナルニ余甲ニ向テ汝若シ余ヲ打タサレハ金ヲ拂フヘシト云フ  
カ如シ此等ノ事ヲ爲スカ又ハ爲サルコトハ以テ約因トスルヲ得サ  
ルナリ且此等ノ事ヲ約束スルモ亦以テ約因トナスヲ得サルハ同一理  
ナリ

斯ク云ヘハ簡易ナルカ如クナレトモ實際ニ至リテハ甚タ困難ナルコ  
ト少シトセス或ル實例ニ龍動ヨリボルテツク海ヘ往復スル船舶ノ航  
海中二人ノ水夫逃走セルヲ以テ船長ハ殘リノ水夫等ニ向テ汝等ノ盡  
力ニ依リ龍動ニ歸航スルヲ得ルトキハ二人ノ水夫ノ給料ヲ分與スヘ  
シト約セシカ歸航後其約ヲ履行セサルニヨリ出訴セリ然ルニ裁判所  
ハ被告ニ違約ノ責ヲシト判決セリ蓋シ此場合ニハ龍動ヲ發スルトキ  
ヨリ途中ニテ起ルコトアルヘキ危難ヲ豫想シタルヘキモノニシテ死  
亡逃走等ヨリ水夫減スルコトアルモ餘ノ水夫ニテ安全ニ歸航スヘキ

ハ當然ノ義務ナリ故ニ之ヲ爲シタルハ當サニ盡スヘキヲ盡シタルモ  
 ノニシテ約因トスルニ足ラス約因ナケレハ契約成立スルコトナケレ  
 ハナリ

抑モ船主カ水夫ヲ雇入ル、トキノ契約ニ於テハ其水夫等ノ乘込ムヘ  
 キ船ハ航海ニ適スルモノナルコトヲ豫シメ明約セサルモ法律ハ之ヲ  
 約束シタルモノト推測スルナリ故ニ例令ハ日本ヨリ亞米利加ニ航海  
 シ直チニ復タ日本ニ回航スルカ爲メ雇入レラレタル水夫等ニハ既ニ  
 航海ヲ始メタル後其船ノ航海ニ適スル丈ケ堅牢ニアラサルコトヲ發  
 見スルトキハ強テ其船ニ乘込ミ回船セサルヘカラサル契約上ノ義務  
 アルコトナシ何トナレハ船ノ持主ニ違約アレハナリ然ルニ船主ノ代  
 人タル船長水夫等ニ約シテ此船ハ普通ノ船ト異ナルヲ以テ或ハ危険  
 アラシモ計ルヘカラサレトモ若シ最初約シタルガ如ク航海ヲ遂ケナ

ハ其報酬トシテ多分ノ金額ヲ拂ハント言ヒタル場合ニ於テ水夫等若

ハ其報酬トシテ多分ノ金額ヲ拂ハント言ヒタル場合ニ於テ水夫等若シ航海ヲ終リタルトキハ船長ノ約シタル金額ヲ請求スルコトヲ得ヘシ何トナレハ水夫等ノ亞米利加ヨリ日本ニ回航シタルハ自ラ船ノ持主即チ雇主ニ對シテ正當ニ爲サ、ルヘカラサル義務ヲ盡シタルニアラス即チ雇主ニ違約アルヲ以テ回航ヲ拒ミ得ヘキモ特別ニ多分ノ金額ヲ得ルノ利益アルヨリ回航シタルモノナレハナリ右ハ法律上約因トスルヲ得サルモノニ似テ尙ホ約因タルヲ得ルノ一例ナリトス前ニ述ヘタルハ契約ヲ結ヒタル一方ノ者ヨリ他ノ一方ニ對シテ契約上ノ義務アリシコトヲ爲シタルヲ以テ約因トスルコト能ハストノ例ナリ而シテ受約者ヨリ第三者ニ對シテ爲スヘキ義務アルコトヲ爲シタルトキモ亦尙約因トスルニ足ラサルナリ

假令ハ甲者乙者ニ契約上拂フヘキ金圓アリタル場合ニ當リ因者甲者

ニ約シテ曰ク若シ汝乙ニ拂フヘキ金圓ヲ拂フトキハ余汝ニ若干ノ金圓ヲ拂フヘシトカ又ハ或ル物品ヲ與ヘントカ言ヒ依テ甲者(受約者)丙者ノ言ニ從ヒ乙者(第三者)ニ金圓ヲ拂フタリト雖トモ決シテ甲丙間ノ契約ヲシテ有効ナラシムルニ足ルノ約因アリト云フヘカラス蓋シ甲者ノ乙者ニ金圓ヲ拂ヒシハ敢テ丙者ヨリ約束ヲ受クルト否トニ拘ハラスシテ當然乙者ニ對シテ拂フヘキノ義務ヲ盡シタルニ過キサレハナリ然レトモ今假リニ設ケタル例ニ反スルカ加ク見ユル訴訟先例アリ其訴訟事件ヲ案スルニ茲ニ伯父アリ其甥ニ書ヲ贈リテ曰ク余嘗テ汝ハ甲者ト婚姻スルノ契約ヲナセリト聞ケリ是レ實ニ賀スヘキコトニシテ余モ亦之ヲ望ム故ニ汝若シ甲者ト果シテ婚姻ヲ遂クルアラハ其後ハ余ノ畢生間汝ニ年々百五十磅ノ金圓ヲ與ヘント其後甥果シテ甲者ト婚姻ヲナシタレトモ伯父ハ最初約セシ如ク年金ヲ拂フコトヲ

二七ノ五十四  
二七ノ五十五

數年間停滯セル内其伯父遂ニ死亡セリ依テ甥ハ伯父ノ死後管財人ニ  
對シテ伯父ノ生存中ニ拂ヒタルヘキ年金ヲ請求セリ  
右ノ訴訟事件ニ於テ裁判所ノ論點トナリシモノハ伯父ト甥トノ契約  
ハ有効ナルヤ否ヤヲ決スルニアリ而シテ其契約ノ有効ナルヤ否ヤハ  
伯父ノ約束ニ對スル約因アリシヤ否ヤノ點ニ歸スルモノトス而シテ  
此約因有無ノ點ニ關シテハ判決上明瞭ナラサルカ如シト雖モ裁判所  
ハ遂ニ伯父ノ管財人ヨリ甥ニ伯父ノ生存中ニ拂ヒタルヘキ年金ヲ拂  
ハサルヘカラスト判決ヲ下シタリ  
今此判決ノ結果ヨリ推考スレハ裁判所ニ於テハ伯父ノ約束ニ對シ充  
分ナル約因アリト認メタルヤ必セリ然レトモ其約因ナルモノハ甥カ  
伯父ノ書ヲ贈リシ如ク甲者ト婚姻シタルヨリ外ニ有ルヘキ様ナシ然  
ルニ甥カ甲者ト結婚シタルハ甥ト甲者トノ間ニ結ヒタル婚姻ノ契約

契約法

二百十三

アルニヨリ當然爲スヘキ義務ヲ盡シタルニ過キサレナリ  
 去レハ前ニ述ヘタル如ク第三者ニ對シテ爲スヘキコトヲ爲シタルヲ  
 以テ約因トスルコト能ハスト云ヘル規則ニ背クカ如シ蓋シ此判決ノ  
 理由タル充分明瞭ナラサレトモボロツク氏ハ其判決ノ正當ナルコト  
 ナ辯護センカ爲メ更ニ說ヲ立テ、曰ク抑モ此伯父ト甥トノ契約ニハ  
 充分ナル約因アリ如何トナレハ甥ハ既ニ婚姻ノ契約ヲ結ヒタルニ相  
 違ナシト雖トモ其後新タニ甥ヨリ伯父ニ對シ甲者ト結婚スルコトヲ  
 約束シタルニヨリ甥若シ違約シテ甲者ト結婚セサルトキハ甲者ノミ  
 ナラス尙ホ伯父ヨリモ訴訟ヲ受クルノ不便アリ故ニ受約者即チ甥ニ  
 於テ不便ヲ蒙ルコトヲ以テ爲約者即チ伯父ノ年金ヲ拂フヘキ約束  
 ノ充分ナル約因ナリト今之ヲ換言スレハ伯父ト甥トノ間ニ契約ナカ  
 リシトキニテモ若シ甲者ト婚姻セサルトキハ甲者ヨリ違約ノ訴ヲ起

サ  
ル、ノ責アリ然レトモ伯父ト甥トノ間ニ契約ナキトキハ決シテ伯  
父ヨリ違約ノ訴ヲ起サル、ノ責ナシト雖トモ一旦其間ニ契約シタル  
以上ハ甥若シ甲者ト婚姻セサルトキ伯父ヨリモ亦訴ヲ受クルノ責ア  
リ即チ此責ハ伯父ノ契約ニ對スル充分ノ約因ナリト云フニアリ  
然レトモ此議論ハ論理ヲ誤リタルモノナリ所謂環論ニ陥キリ自己ノ  
證明セントスル所ヲ假定シテ論シタルニ過キス何トナレハ伯父ヨリ  
甥ニ對シ違約ノ訴ヲ起サントセハ其約束有効ノモノナラサレハ能ハ  
ス然ルニ其約束ノ有効如何ヲ證明セシカ爲メ甥若シ甲者ト婚姻セサ  
ルトキハ伯父ヨリ訴ヲ受クルノ不便アルヲ以テ其約束有効ナリト云  
フニアレハナリ後其諸家ノ駁撃ヲ受ケボロック氏自ラ其論理ヲ誤リ  
タルコトヲ知リタルカ其著書契約法ノ四版ヲ發兌スルニ當リ私カニ  
此一項ヲ削除セリ

然ラハ此訴訟事件ハ全ク判決ヲ誤リタルモノナルカアンソン氏説ヲ述ヘテ曰ク甥ノ甲者ト婚姻シタルハ其甲ニ對シテ婚姻ノ契約上當サニ爲スヘキコトヲ爲シタルニ過キサルコトハ勿論ノコトナレトモ凡テ未行ノ契約ニ在リテハ契約ヲ結ヒタル雙方ノ對手ノ同意ヲ以テ之ヲ取消スコトヲ得ルモノナリ即チ甥若シ甲者ノ承諾ヲ得ルトキハ婚姻ノ契約ヲ取消スノ權利アリ然ルニ甥ハ伯父ヨリ年金ヲ拂ハントノ契約ヲ受ケタルカ爲メニ此權利ヲ放棄シタルモノナリ即チ甥ハ決シテ甲者トノ契約ヲ取消サ、ルノミナラス甲者ヨリ解約ヲ求ムルト雖トモ之カ承諾ヲナサ、ルコトヲ約シタルモノナリ故ニ甥ノ權利ヲ放棄シタルヲ以テ充分ナル約因ト云フヲ得ヘシト

斯ノ如ク論シ來ルトキハアンソン氏ノ論ヤ敢テ間然スヘキ所ナク實ニ正確ナル論ト云ハサルヘカラス此訴訟事件タル英吉利法律ニ背キ



タル判決ニアラスト云ハサルヘカラス然レトモアンソン氏ノ説ヲ以  
 テ現ニ此訴訟事件ヲ判決シタル判事ノ理由ヲ説明シタルモノトハ云  
 フコト能ハサルヘキカ何トナレハアンソン氏ノ説ノ如キハ該判決録  
 中ニ少シモ見ヘサレハナリ余カ考察スル所ニヨレハ蓋シ此ノ事件判  
 決ノ重モナル理由ハ今日既ニ破ル、所トナリタル近親ニ對スル愛情  
 ナ以テ約因トスルニ足ルト云ヘル規則ニ基キタルモノニアラサラン  
 乎然レトモ一箇ノ訴訟事件ヲ擧ケ以テ其判決ノ正否如何ヲ研究スル  
 モ左程必要ノコトニアラサレハ深ク穿索スルニ及ハサルナリ  
 以上述ヘタルハ爲スヘキ義務アルコトヲ爲シタル場合ノ例ナリ  
 次ニ爲スヘカラサル義務アルコトヲ爲サ、ルヲ以テモ亦約因トナス  
 コト能ハス例令ハ不法ニ人ヲ監禁シ而シテ其監禁ヲ解クカ如キコト  
 ハ決シテ監禁セラレタルモノヨリ約束ヲ受クルノ約因トナスコト能

ハス夫レ既ニ監禁シタルモノヲ解クハ或ハ之ヲ行爲ト云フヲ得ヘキ  
 モ尙ホ引續キテ監禁スルコトヲ爲サ、ルモノナレハ不爲ト云フ方カ  
 却テ至當ナルヘシ而シテ此不爲ノ義務アルコトヲ爲サ、ルハ當然ノ  
 コトナルヲ以テ決シテ約因トスルコト足ラサルヤ明ナリ  
 又受約者ヨリ爲約者ニ對シテ爲スヘキ義務アルコトヲ爲シタルヲ以  
 テ約因トナスコト能ハスト云フ極メテ簡單ニシテ屢々普通ニ起ル例ヲ  
 舉クレハ負債主カ債主ニ拂フヘキ金額ノ一部分ヲ拂ヒ之ヲ以テ殘金  
 支拂ノ免除ヲ受クルノ約因トナスコト能ハサル場合はナリ假令ハ甲  
 者乙者ニ對シテ支拂フヘキ百圓ノ負債アリ時ニ甲者乙者ニ申込テ曰  
 ク余今八十圓ヲ拂フヘケレハ殘金二十圓ヲ免除セラレタシ若シ二十  
 圓ヲ免除セラレサレハ八十圓ヲモ拂ハサルヘシト而シテ乙者之ヲ承  
 諾シ八十圓ヲ受取りタルト假定セヨ此場合ニ於テ甲者ハ尙ホ二十圓

チ拂フノ義務チ免レタルモノニアラス何トナレハ甲者ノ拂ヒシ八十  
圓ハ既ニ拂フヘキ金額ノ一部分ニシテ之チ拂フハ義務ノ一部分ヲ盡  
シタルニ過キサレハ殘金二十圓ノ免除ヲ受ケントスル約束ノ約因ト  
スルニ足ルモノナシ依テ乙者ヨリ更ニ二十圓ノ金額ヲ請求シテ訴テ  
起スノ權利アリ  
右ニ述ヘタルハ甲者ニ於テ八十圓ヲ拂ヒシハ甲者ノ既ニ百圓ノ金額  
ヲ拂ハサルヘカヲサル位地ニアリシ場合ナリ甲者若シ乙者ニ對シテ  
拂フヘキ負債アルモ未ダ之ヲ拂フヘキ期限ノ來ラサル前ニ其負債ノ  
一部分ヲ拂ヒシトキハ殘金ノ免除ヲ受クル約束ノ約因トスルコトヲ  
得ヘシ何トナレハタヘト小額ト雖トモ期限ノ來ラサル前ニ之ヲ拂ハ  
シムルハ債主ニ取リテ若干ノ利益アルカモ知ルヘカラス又負債主ニ  
在リテハ其期限前一厘ヲモ拂フニ及ハサルモノナレハナリ負債主ニ

於テ小額ニテモ期限前ニ之ヲ拂ヒシハ即チ義務外ノ事ナラセシモノ  
 ナリ此レ小額ニテモ期限前ニ拂フトキハ殘金ヲ免除セントノ約束ヲ  
 有効ナラシムルニ充分ナル約因アリトスル所以ナリ而シテ法律ハ約  
 束ノ約因ト匹敵セルヤ否ヤニ關セサル前既ニ述ヘタルカ如キヲ以テ  
 期限前ニ一圓ヲ拂ヒ以テ百圓ノ負債ヲ免カル、ノ約因トスルハ敢テ  
 妨ケナキナリ  
 又負債主ニ於テ金圓ヲ支拂フ代リニ債主ノ承諾ヲ得テ金圓ニアラサ  
 ル他ノ物品ヲ渡シタルコトヲ以テ負債ヲ免カル、ノ約因トスルヲ得  
 ヘシ何トナレハ負債主ニ於テ金圓ヲ拂フノ義務アレトモ其他ノ物品  
 ヲ渡スヘキ義務ナケレハナリ即チ或ル物品ヲ渡ストキハ負債ヲ免除  
 セントノ約束ヲ受クルニ就テ負債主ノ爲スニ及ハサル義務外ノコト  
 ヲ爲シタルモノナレハナリ而シテ其物品ハ如何ニ價値ノ廉ナルモノ

ニテモ之ニ關セサルモノトス何トナレハ例令價值ノ廉ナルモノニテ  
モ債主ニ取りテハ負債ノ金額ニ相當スルノ價值アルモノト見サルヘ  
カラス若シ夫レ負債ニ匹敵セル價值ナキモノトセハ債主ニ於テ何ソ  
其物品ヲ受取り之レカ承諾ヲ與フルノ理アラン  
負債主ニ於テ金額ノ一部分ヲ拂ヒ殘金ノ免除ヲ受クルコト能ハサル  
ノ理由ハ若シ其一部分ヲ拂ヒシトキ既ニ全額ヲ拂フヘキ義務ノアリ  
シ場合ニハ法律上約因ト約束ト匹敵スルコトヲ要セスト云フ規則ヲ  
適用スルコト能ハサルニアリ即チ金圓ヲ拂フヘキ期限ニ前後ノ區別  
ナキ以上ハ法律ハ約束ト約因トノ價值各若干ナルヤヲ問ハサラント  
欲スルモ能ハサルナリ何トナレハ金圓ハ他物ト異ニシテ人民ノ私ニ  
之レカ價值ヲ變更シ得ヘキモノニアラス一國ノ通貨ハ其價值既ニ定  
マレリ故ニ今現ニ百圓ノ金額ヲ拂ハサルヘカラサル義務アルモノヲ

管ニ八十圓ノ金額ヲ拂ヒ而シテ其八十圓ノ價值百圓ニ等シトハ法律  
 上決シテ言フヲ得サルナリ此場合ハ法律ハ約束ト約因トノ匹敵スル  
 ナ要セストスル規則ノ例外ナリ  
 然レトモ茲ニ甲ナル負債主アリテ此負債主ニ對スル多數ノ債主アル  
 場合ニ於テ其負債主ト多數ノ債主等ノ間ニ在リテ示談ヲナシ負債主  
 ヨリ各債主ニ對スル負債ノ一部分ヲ拂ヒ殘餘ノ金額ヲ免除セントス  
 ルノ約束ハ有効ナルモノトセリ然レトモ是レ決シテ負債主ニ於テ負  
 債ノ一部分ヲ拂フコトヲ以テ殘金ノ免除ヲ受クルノ約因トシタルニ  
 アラス抑、此示談ノ約束ニ於ケル約因ハ負債主ヨリ各債主ニ對シ且各  
 債主相互ニ對シ數人ノ間ニ取結ヒタル新タナル契約ニアリ即チ元來  
 負債主ト各債主トノ間ニ法律上數多格別ノ關係アリシモノヲ示談ノ  
 契約ニヨリテ新タニ負債主并ニ各債主等ノ間ニ存スル契約ヲ結ヒタ

ルニアリ而シテ他人ヨリ約束ヲ受クルコトヲ以テ約因トスルヲ得ヘ  
キコトハ前ニモ説明セルカ如シ

(三)爲約者ヨリ受約者ニ對スル愛情ヲ以テ約因トスルコトヲ得

此ノ事ハ約因ノ性質ヲ示シタル所ニテ既ニ述ヘタルカ如ク全ク道德  
範圍内ニ屬スヘキモノニシテ今日ニテハ決シテ約因トスルコト能ハ  
サルコトニ決セリ今日ニアリテハ約因ナルモノニハ法律上幾分カ金  
錢上ノ價值アルモノニ限レリ然レトモ昔時ハ爲約者ト受約者トノ間  
ニ親戚等ノ關係アルトキハ財産信托等ノ方法ニ依テ受約者ニ不動産  
上ノ使用權ヲ有セシムルコトヲ得ルカ如キ規則アリタリ而シテ此規  
則ノ行ハレタル時代ニハ右等ノ約因ヲ稱シテ「グード」又ハ「ブラット」コ  
ンシデレーシヨン」ト言ヒ今日ノ所謂約因即チ有價值ノ約因ト區別ス

ルカ如キコトアリタレトモ此ハ沿革上ノ事ナルヲ以テ茲ニ詳論スル  
 ノ必要ナカルヘシ有價值ノ約因トハ原語ニテ「<sup>ろ</sup>ブアリエーブル、コンシ  
 デレーシヨン」ト言フ而シテ今日單ニ約因ト言フハ總テ此有價值ノ約  
 因ヲ稱スルナリ

(四)過去ニ在リテ得タル利益ニ對シ道德上報恩ノ義務ヲ以テ約  
 因トスルコトヲ得ス

斯ノ如キ德義上ノ義務モ亦第三ノ場合ト同シク全ク道德場裏内ニ放  
 任スヘキ者ナリ故ニ法律ハ此等ノ義務ニ干涉セサルモノトス然レト  
 モ第三ノ場合ニ於ケルト同シク一時ハ道德上ノ義務ヲ以テ約因トス  
 ルコトヲ得ルト言ヘル説ノ行ハレタル時代アリシカ其後此ノ説ヲ破  
 リタル或ル訴訟事件ニ於テ判事某曰ク道德上ノ義務ヲ以テ約因トス  
 ルコトヲ得ルトセハ全ク約因ヲ要セストスルニ至ルヘシ何トナレハ



如何ナル約束ニテモ現ニ約束ヲナシタル一事ハミチ以テ既ニ道德上ニテハ其約束ヲ盡スヘキ義務ヲ生スヘケレハナリト實ニ明言ト謂ツヘシ此訴訟事件以後ハ道德上ノ義務ヲ以テ約因トスルヲ得サルコトニ決シ今日ニテハ全ク動カスヘカラサルニ至レリ

第四 約因ト爲シ得ヘキモノ

抑モ約因トハ前ニ述タル如ク契約ヲ結フノ主意トモ言フヘキ者コトテ何ナル約因アルニアラサレハ契約ヲ有効ナラシムルコト能ハスト言ヘルカ如キ範圍ノ狭小ナル者ニアラス法律ノ禁セサル以上ハ如何ナル事柄ニテモ契約シ得ルト同シク法律ノ禁セサル限りハ如何ナル事柄ニテモ亦約因トナスコトヲ得ヘシ夫レ斯ノ如ク約因ノ範圍ハ廣大ナルヲ以テ如何ナル事柄ヲ以テ約因トナスコトヲ得ヘキヤハ實ニ枚擧スルニ遑アラスト雖モ今之ヲ大別シテ三種トナスヲ得ヘシ

(一) 所爲

(二) 不爲

(三) 約束(爲スヘキ又ハ爲サルヘキ約束)

(一) 所爲

所爲ヲ以テ約因トナシ得ヘキハ既ニ前記約因ニ關スル諸規則ノ例ヲ以テ明了ナルヘキヲ以テ之ヲ再說スルノ要ナシト信ス既行ノ約因ノ如キハ即チ行爲ヲ以テ成立スル所ノ約因ナリ

(二) 不爲

不爲ヲ以テ約因トナス場合ハ實際僅少ナレトモ今普通ニ行ハル、モノハ權利ヲ放棄スルカ又ハ權利ノ執行ヲ中止スルカ如キ是ナリ而シテ此ニ所謂權利トハ必ラスシモ習慣法ニテ保護スル權利ノミナラス或ハ衡平法裁判所ニテ保護スル所ノ權利ニテモ充分ナリトス且其權

利ハ管ニ本人ニ對スル者ノミナラス第三者ニ對スル者ニテモ足レリ  
 トス又其權利ハ必ラスシモ之アリト確定シタル權利ナルヲ必要トセ  
 ス權利アリト推測スヘキ相當ノ理由アルトキハ事實權利存セサルモ  
 之ヲ放棄シ又ハ中止スルコトヲ以テ約因トナスコトヲ得ヘシ如何ト  
 ナレハ事實ナキ權利ニテモ之ヲ放棄シ若クハ之カ執行ヲ中止シテ出  
 訴セサルトキハ爲約者ニ於テ其自ラ權利アリト信スル人ニ出訴セラ  
 ル、ノ不便ヲ免ル、ノ利益アレハナリ故ニ權利ノ放棄又ハ中止ヲ以  
 テ約因トスルコトハ事實其權利アルコトヲ必要トセス唯左ノ二條件ア  
 レハ足レリトス

第一 權利アリト信スルコト

第二 權利アリト信スヘキ相當ノ理由アルコト

右ノ二條件ニシテ具備スルトキハ實際權利存セスト雖モ之ヲ放棄シ

又ハ之ヲ中止スルコトヲ以テ約因トスルニ充分ナリトス而シテ權利  
 ナ放棄スルトキハ全ク之ヲ消滅セシムヘキカ故ニ敢テ論スルマテモ  
 ナキコトナレトモ權利ノ執行ヲ中止スルトキニハ期限アレハ其定期  
 間ハ之ヲ中止シ若シ其期限ナキトキハ相當ノ時間内之ヲ中止セサル  
 ヘカラス何トナレハ不爲ヲ以テ約因トナス場合ニテモ固ヨリ其約因  
 ト約束ト匹敵スルヤ否ヤハ之ヲ問ハサレトモ不爲ハ所爲ト異ニシテ  
 爲サハルコトナルヲ以テ一分時間ニテモ中止セリト言フヲ得ヘケレ  
 ハ相當ノ時間内ハ之ヲ中止スヘキ者ト定メサルヘカラサルナリ

(三) 約束

如何ナル約束ニテモ法律上約束タルヲ得ヘキモノハ他ノ約束ノ約因  
 トナスコトヲ得ヘシ而シテ約束カ契約ノ約因トナリ居ルトキハ必ス  
 ヤ双務ノ契約ヲ生スルモノナリ如何トナレハ双方ノ約束カ相互ニ約

因トナリテ一ノ契約ヲ生スルモノナレハナリ故ニ其双方ノ約束ノ一  
ニシテ無効ナルトキハ他ノ一モ亦約因チ失フヲ以テ自然無効ナラサ  
ルヲ得ス去レハ双務契約ノ効ヲ生セシメンニハ必スヤ双方ノ約束共  
ニ同時ニ有効ノモノトナラサルヘカラス  
然レトモ雙務契約ノ一方ノ約束ハ法律上取消シ得ヘキ者ナルモ其約  
因タルヲ妨ケサルモノトス例ヘハ英國ニ於テ近年發布シタル條例ア  
ル前ハ幼者ノ結ヒタル契約ハ一般ニ幼者ニ於テ取消シ得ヘキモノト  
ナセリ而シテ取消シ得ヘキ契約トハ其之ヲ取消スマテハ成立スルコ  
トヲ顯ハスモノナレハ幼者ニ於テ其契約ヲ取消サ、ル以上ハ不完全  
ナカラモ約因タルヲ得ヘキ約束ハ存スルモノトセシナリ  
又雙方ノ約束ノ一方ハ有條件ノ約束タルモ尙ホ之ヲ以テ約因トスル  
ヲ得ベシ例ヘハ今請負建築ノ契約ヲナシ單ニ注文者ハ金ヲ拂フ約束

ナシ請負人ハ建築スヘキ約束ナシ場合ニ於テハ雙方ノ約束共ニ  
 無條件ノ約束ナレトモ注文者ニ於テ若シ其請負人ノ建築シタル家屋  
 成就ノ後或ル建築學士ノ鑒定ヲ乞ヒ果シテ善良ナル結果ヲ得ルトキ  
 ハ賃錢ヲ拂ハント約束セハ其約束ハ則チ有條件ノ約束ナリ然レトモ  
 此有條件ノ約束ヲ以テ尙ホ約因トナスコトヲ得ヘシ  
 又保險契約ノ如キモ一ノ有條件ノ約束ヲ以テ約因トナス契約ナリ即  
 チ保險者ニ於テ船舶ノ破壊スルカ或ハ毀損スルトキハ若干ノ金圓ヲ  
 拂ハント言フ如キハ有條件ノ約束ナリ  
 又左ノ如キ場合ニモ有條件ノ契約ヲ成立セルモノト説ク人アリ例令  
 ハ前橋ノ生糸商人甲者ナル者横濱ノ商人乙者ニ書ヲ送り汝ノ注文次  
 第今年中ニ代價若干ノ割合ヲ以テ生糸若干荷ヲ賣却スヘシト申込ミ  
 シニ乙者ハ單ニ之ヲ承諾シタリト假定スルトキハ其結果如何ト言フ

ニ乙者若シ注文セハ甲者ニハ生系ヲ賣却スルノ義務アリト雖モ乙者  
 ハ只タ甲者ノ申込ヲ承諾シタル者ニシテ敢テ生系ヲ買入ルヘキヲ  
 承諾シタルモノニアラサルヘシ今此場合ニ於テ乙者ハ甲者ノ申込ヲ  
 承諾シタルヲ以テ契約ヲ成立セル者トセハ甲者ノ約束ニ對スル約因  
 ナキカ如シ何トナレハ乙者ニハ生系ヲ買入ルヘキ約束上ノ義務ナケ  
 レハナリ故ニ斯ノ如キ場合ニハ甲者ノ申込ハ一年間繼續スヘキ性質  
 ノ申込ニシテ乙者カ注文セシキハ其注文ヲ以テ承諾ト見做スヲ至當  
 ナリト余ハ考フルナリ

第五 約因ハ適法ナルヲ要ス

此事ハ別ニ説明スルヲ要セスシテ明ナリ尙ホ其詳細ハ契約ハ適法ノ  
 モノナラサルヘカラサルヲ説クキニ讓ラン

第六 約因ハ受約者ヨリ之ヲ供給セサルヘカラス而シテ負債訴

式ニ於ケル約因ハ爲約者ニ於テ之ヲ受クルコトヲ要スト雖  
 凡約束訴式ニ於ケル約因ハ然ラズ

約因トハ受約者ニ於テ約束上ノ利益ヲ受クル報酬トシテ供給スルモ  
 ノナリ而シテ受約者ノ供給スル約因ハ普通ニハ爲約者ニ於テ之ヲ受  
 クルモノナレトモ必スシモ爲約者ノ之ヲ受クルヲ必要トセス然レモ凡債  
 債訴式ヲ以テ訴フヘキ場合ノ約因ハ現ニ物品ヲ掌握シタルカ又ハ現  
 ニ其他ノ實益ヲ受ケタルニアルモノナレハ約因即チ約束ノ原因ト言  
 ハンヨリ寧ロ義務ノ直接ノ原因ト言フコト隱當ナラン斯ノ如ク負債訴  
 式ノ場合ニ於テハ現ニ實益ヲ受クルコトカ原因トナリテ義務ヲ生スル  
 者ナルカ故ニ義務者即チ爲約者ニ於テ之ヲ受ケタルモノナラサルヘ  
 カラサルヤ明ナリ而シテ法律上約束訴式ヲ生スルニ至テハ約束并ニ  
 約因ヲ以テ契約ヲ成立セシムルニ足ルトスルニ至レリト雖モ其約因



ハ必ス受約者ヨリ供給セサルヘカラサルノ點ニ付テハ負債訴式ノ約因ニ於ケルト同一ナリ契約ニ關係ナキ第三者ヨリ供給スル所ノ約因ハ其約束ヲ有效ナラシムルニ足ラサルナリ然レモ約束訴式ノ約因ヲ受クルモノハ必スシモ爲約者タルヲ要セス第三者ニテモ有効ナルモノトス何トナレハ若シ之ヲ以テ有効トナサルハ昔々受約者ニ損失ヲ蒙ラシムルノ結果ヲ生ズルコアルヘケレハナリ例ヘハ甲者乙者ニ言テ曰ク汝金ヲ丙者ニ貸渡ス可シ然ルモ昔々若シ丙者ニ於テ返濟セサルモ昔々余代リテ之ヲ辨償セント而シテ乙者ハ甲者ノ言ヲ信シテ丙ニ金ヲ貸シタリトセンニ此場合ニ於テ若シ受約者ノ供給シタル約因ハ爲約者タル甲者ニ於テ之ヲ受ケタルニアラスシテ第三者タル丙者ニ於テ之ヲ受ケタルヲ以テ甲ノ約束ハ無効ナリトセハ受約者タル乙者ハ甲者ノ言ヲ信シタルカ爲メ非常ノ損害ヲ蒙ルヘシ是レ受約者ノ供給

スル約因ハ必ラスシモ爲約者ノ之ヲ受クルヲ要セズ  
 第三者ニ於テ之ヲ受クルモ尙ホ其契約ハ有効ノモノトナサ  
 ルヘカラサル所以ナリ  
 第七 約因ハ未行又ハ既行ノモノタルヲ得可シト雖モ過去ノ者  
 タルヲ得ス

此ノ規則ハ時ノ前後ヨリ約因ト約束トノ關係ヲ示シタル者ナリ前ニ  
 モ述ヘタルカ如ク約束ト約因トハ契約者ニ於テ互ニ之ヲ交換スルモ  
 ノト看做スカ故ニ約束ト約因トハ同時ニ存在スルヲ必要ナリトス  
 去レハ約束ノ有無ニ拘ハラス約束ヲ爲ス前既ニアリタル事柄ハ之ヲ  
 以テ其後ノ約束ト交換シ得可キ筈ナシ又約束ヲ爲ストキニ未ダアラ  
 サル將來ノ事柄モ亦約束ト交換スルヲ能ハス是レ約束ト約因トハ同  
 時ニ存在スルヲ必要ナリト云フ所以ナリ  
 約束ト同時ニ存在スル約因ニ二種類アリ其一ハ約束ヲ爲ス當時ニ約

束、チ、受、ク、ル、人、カ、實、行、シ、終、リ、タ、ル、モ、ハ、即、チ、既、行、約、因、ナ、リ、ト、ス、例、令、ハ、賣、買、ノ、場、合、ニ、於、テ、賣、主、先、キ、ニ、物、品、ヲ、渡、シ、タ、ル、カ、又、ハ、買、主、先、キ、ニ、代、價、ヲ、拂、ヒ、タ、ル、ト、キ、ハ、其、賣、主、ハ、先、キ、ニ、物、品、ヲ、渡、シ、タ、ル、ト、又、ハ、買、主、ニ、於、テ、先、キ、ニ、其、代、價、ヲ、拂、ヒ、タ、ル、ト、ハ、即、チ、既、行、約、因、ナ、ル、カ、如、シ、  
其、二、未、行、ノ、約、因、モ、亦、契、約、ヲ、爲、ス、當、時、ニ、存、在、ス、ル、モ、ナ、レ、ト、モ、其、約、因、ハ、矢、張、一、ノ、約、束、ナ、ル、ヲ、以、テ、其、約、因、ノ、事、柄、ヲ、事、實、履、行、ス、ル、ハ、約、束、ヲ、結、ヒ、タ、ル、ト、キ、ヨ、リ、將、來、ニ、ア、ル、者、ト、ス、例、令、ハ、賣、買、ノ、場、合、ニ、於、テ、甲、乙、互、ニ、賣、買、セ、ン、ト、約、束、シ、タ、ル、ノ、ミ、ニ、テ、未、タ、雙、方、共、ニ、其、約、束、シ、タ、ル、物、品、ヲ、渡、シ、又、ハ、其、代、價、ヲ、拂、ハ、サ、ル、場、合、ノ、如、シ、此、場、合、ニ、於、テ、ハ、未、タ、物、品、ト、代、價、ト、ノ、引、渡、ハ、ア、ラ、サ、レ、何、レ、モ、雙、方、ノ、約、束、成、立、セ、ル、モ、ノ、コ、シ、テ、即、チ、約、束、ト、約、束、ト、ヲ、交、換、シ、タ、ル、モ、ノ、ナ、リ、余、カ、前、ニ、約、因、ト、ナ、リ、得、可、キ、モ、ノ、ナ、説、キ、タ、ル、場、合、ニ、雙、務、契、約、ノ、約、束、ハ、雙、方、共、ニ、有、効、ノ、モ、ノ、ナ、ラ、サ、ル、ヘ、カ、

ラスト述へシハ則チ此事ナリ何トナレハ一方ノ約束無効ノモノナル  
トキハ從テ他ノ一方ノ約束モ亦無効ノ者トナレハナリ  
既行ノ約因ヲ細別シテ又二種トナスヲ得ヘシ第一種ハ約束者ノ依  
シタル事ヲ受約者ノナシタル時此ハ前ニ契約ヲ生スル四箇ノ場合ニ  
掲ケタル中ノ言語ヲ以テ申込テナシ所爲ヲ以テ承諾ヲナスノ場合ニ  
當ルモノナリ此約因ヲ稱シテ普通ニ爲約者ノ依頼ニ基キテナシタル  
既行ノ約因ト云フ  
第二種ハ爲約者ノ依頼ナクシテ物品ヲ供給シ又ハ或ル事柄ヲナシタ  
ルヨリ契約ヲ生スル場合ニシテ此ハ前ニ述ヘタル所爲ヲ以テ申込  
ナシ言語又ハ所爲ヲ以テ承諾ヲ爲スノ場合ニ當ルモノトス  
此等ノ未行約因既行約因ノ區別並ニ既行約因ノ細則ニ付テハ右ニ述  
ヘタル所ヲ以テ充分ナリト信セリ茲ニ今一應述フヘキトハ過去ノ約

因ハ約因トスルヲ得スト云フヲナリ前ニ述ヘタル如ク約束ト約因トハ互ニ之ヲ交換スルモノナリトセハ過去ノ事柄ヲ以テ約因トスルヲ能ハサルハ自ラ明ラカナルヘシ何トナレハ約束ヲナス前ニ過キ去リシ事柄ハ約束ヲ爲シ又ハ爲サ、ルニ拘ハラスシテ既ニ行フタルモノニシテ決シテ新々ニ約束ヲ生セシムルノ力ナカルヘケレハナリ然レトモ近代マテハ過去ノ約因ニテモ或格段ナル場合ニハ後日ノ約束ヲ有効ナラシムルヲ得ルト云フ例外ノ場合アリトセリ

其第一ノ場合ハ前ニ述ヘタル所ノ約束者カ兼テ依頼シ置キタルヲナラハ其事ヲ履行シタル後ノ約束ヲ有効ナラシムルヲ得即チ過去ノ事柄ニテモ爲約者カ依頼シタルカ爲メニ爲シタル事柄ナレハ之ヲ以テ約因トスルヲ得ルト云フニアリ然レトモ今日ニテハ此規則ヲ以テ決シテ過去ノ約因ヲ以テ約因トスルヲ得ルト云フ例外ト看做サ

スシテ其所謂例外ノ規則トシ來リタルモノヲ説明スルニ他ノ主義ヲ  
 以テセリ其主義ハ後日約束ヲキシタル人ノ前ニ依頼ヲナシタルコトハ  
 即チ申込ニシテ此申込ニ應シテ所爲ヲ爲シタルハ則チ承諾ヲシタル  
 モノニシテ其時既ニ契約ヲ成立セリトスルコトアリ故ニ其後ニ爲シタ  
 ル約束ハ既ニ成立シタル義務ヲ再ヒ認メタルニ過キスシテ新ニ契約  
 ナ生シタルニアラス或ハ初メ依頼ヲ爲ストキニ當リ其報酬トシテ與  
 フ可キ金額ヲ依頼者ニ於テ豫定セサリシトキハ相當ノ報酬ヲ與フル  
 約束ヲナシタルモノト看做サル可カラス若シ後日ニ至リ金額ヲ定  
 メ報酬ヲ拂ハントシタルトキハ單ニ其報酬ノ金額ヲ定メタルニ過キ  
 ス故ニ後日金額ヲ定メテ之ヲ拂フノ約束ヲナシタリトテ新タニ約束  
 ナナシ其約束ハ約束前ニ依頼シタル事柄ヲナシタルヲ以テ約因トス  
 ルニ足ルト言フニハアラサルナリ

第二ノ例外トシ來リタルモノハ爲約者ノ法律上爲ス可キ義務アリシ  
事柄ヲ受約者カ爲シタルトキハ爲約者ヨリ受約者ニ對シテ之カ報酬  
ヲ與フヘキ約束ヲ有効ナラシムルヲ得ルト云フニアリ例令ハ甲ノ寺  
院區ニ屬スル貧民乙ノ寺院區ニ現ニ居住シ病ヲ發シタルニツキ乙ノ  
寺院區ノ役員醫師ニ乞フテ治療セシメ診察料其他藥料ヲ拂ヒタル後  
甲寺院區ノ役員ニ於テ乙寺院區ノ役員ニ對シ右ノ入費ヲ拂フヘキ約  
束ヲナシタルトキハ其約束ノ約因ハ過去ノ事柄ニ屬スト雖モ尙ホ甲  
寺院區ノ役員ノ約束ヲ有効ナラシムルヲ得ルトセリ此理由ハ乙ノ  
寺院區ニ現ニ居住スル諸貧人ヲ救フハ甲寺院區ノ法律上負擔スル所  
ノ義務ナリ其義務ヲ乙寺院區ノ役員代リテ盡シタル者ナレハ普通ノ  
場合トハ特別ニシテ乙寺院區ノ拂フタル入費ハ甲寺院區ニ於テ拂ハ  
サルヘカラスト云フニアリ然レトモ此第二ノ例外ノ場合ハ後日約束

ナシタル人ノ前以テ暗ニ受約者ニ向テ依頼シタルモノト看做スコ  
 ナ得ル場合ニアラサルハナシ然ラサレハ法律上約束ノ有無ニ拘ハラ  
 ス或ル格段ナル場合ニ於テハ契約ニ類スル所ノ對人的ノ權義ヲ生セ  
 シムル所ノモノト看做シタル場合ニ限レルカ如シ後日ノ約束ニ因リ  
 テ契約上ノ義務ヲ生シタル者ト見タルニアラスシテ或ハ前以テ事實  
 依頼シタルコアリト云フ推測ヲ下スコナ得タルカ爲メニ第一例外ノ  
 場合ト同一ニシテ過去ノ約因云々ニ少シモ關スルコナシ又或ハ前以  
 テ依頼シタルコナシトスルモ後日ノ約束ヲ爲スト爲サ、ルトニ拘ハ  
 ラス前ニ述ヘタル例ノ如キハ元ト法律上ノ義務ヲ負擔セル人ニ代リ  
 テ之ヲ履行シタル人ニ向テ辨償スルノ義務アリトセシカ如シ此二者  
 ノ内ニ屬スル先例ノミニテ決シテ後日ノ約束ヲ有効ナラシムルニ足  
 ル過去ノ約因アリタルモノトスルヲ得ス



第三ノ例外トシ來リタルモノハ特別ノ法律規則ニヨリテ訴權ヲ生セシメサル又ハ訴權ヲ消滅セシメタル義務ヲ負擔スル人カ尙其義務ヲ盡スヘキ約束ヲナシタルトキハ前以テ存在シタル不完全ノ義務ヲ以テ其約束ヲ有効ナラシムルニ足ル約因ナリト云フニアリ例令ハ幼年者カ幼年ニ負擔シタル負債ヲ丁年後ニ拂フ約束ヲナシタルトキ又ハ身代限ノ所分ヲ受ケタル負債主カ其後ニ至リ尙殘餘ノ負債ヲ辨償セント約束シタルトキ又ハ出訴期限ヲ經過シタル貸借ノ負債主ニ於テ期限ノ經過シタルニモ拘ハラス其金圓ヲ拂フ約束ヲナシタル場合等ニ於テハ皆其後日ノ約束ヲ以テ有効ノモノトス而シテ其約因何ニアルヤト云フニ即チ其約束ヲナス前ニ負擔シタル不完全ノ義務ニアリトシ其義務ハ過去ノモノニ相違ナキカ故ニ第三ノ例外トセシナリ然レトモ是亦例外ト云フ可カラス前ニモ陳ヘタル幼者身代限者又ハ

出訴期限ヲ經過シタル負債主等ノ義務ハ皆純粹ナル道德上ノ義務ニ  
 アラス(純粹ナル道德上ノ義務ヲ約トスル能ハサルコトハ前ニ説ケリ)  
 此等三箇ノ場合ノ義務ハ其義務ニ對スル權利者ニ訴權ナキヲ以テ完  
 全ナル權利完全ナル義務アリト云フコト能ハサレトモ又純粹ナル道德  
 上ノ權義トモ異ナレリ即チ此等ノ義務ハ法律上何分カ其存在セルコ  
 トヲ認メタルモノナリ其認メタルト云フ證據ハ此等ノ義務者ヨリシテ  
 權利者ニ對スル負債二口以上アリタル場合ニ於テ其内幾分カノ負債  
 ハ權利者ニ訴權アル負債ナリシトキ義務者ニ於テ何レノ負債ニ差入  
 ルコトヲ示サスシテ金圓ヲ拂フタルトキハ權利者ニ於テハ此等ノ不  
 完全ナル義務ノ支拂ニ適用スルコトヲ得セシムルヲ以テ明ナリ  
 夫レ斯ノ如ク權利者ニ訴權ナシト雖モ既ニ負債ノ成立セルコトヲ法律  
 上認メタルモノナレハ此等ノ義務ヲ以テ約因トシ後日ノ約束ヲ有効